大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可

昭和十年二月十九日　新京日日新聞　（火曜日）　第四千三百三十一號　（一）

新京日日新聞

夕刊　二月十八日

發行所 新京日日新聞社　發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越內之介

治外法權の撤廢 近く日本政府聲明

經濟連繫、產業開發上からも 聲明は早い方がよい

【東京國通】滿洲國の治外法權撤廢に關しては日滿兩當局で準備してゐるが日本側では、重光次官を幹事長とし、法制局、外務、陸軍、司法各省の關係局長を委員とする專門委員會を設置して二月十三日初委員會を開きその後實施準備に努力してゐるが、問題が廣汎且つ複雜なので實施時期等豫想なし得ぬ有樣である、然しながら日滿間の經濟連繫、滿洲國の產業開發に於ても切實な性質を持つ故政府としては撤廢實施の完成を待たず速かに治外法權撤廢の用意を有する旨を豫め聲明せよとする意見有力化し近く實現を見る模樣である

軍縮策研究委員會と研究題目內容

【東京國通】山本代表歸朝報告は十八日午後六時より開催の岡田首相晩餐會を以て一應終るので、大角海相は軍縮研究委員會で山本代表の報告を基礎とし英米兩國の主張を檢討し日本原則への歩寄りの有無を發見し今後の對策樹立を爲す事となつた、軍備平等權確立は如何なる場合も變更せぬ鐵則とし英米にして此鐵則を容認し得るか否かを研究する事とならう

一、攻擊的武器全廢と英米主張の實現可能性

一、攻擊兵力を極力縮減の場合質的と量的縮減に對する英米主張と日本具体案の調和點の有無

一、各國共通保有量低下に對する英米主張

一、英の希望する百萬噸以上に最大保有量決定の場合に日本は軍擴となるが其對策

等研究すべきも以上は大部分統帥事項に屬するので海軍省で研究終了後外務省と協議し、再開に對する態度決定に資する事となつた

外務當局海軍と連絡 軍縮對策研究

【東京國通】外務省では山本代表の報告に接し海軍と連絡し今後の方策につき研究してゐるが、技術的細目に入り統帥事項に關するので海軍當局の研究と、列國の態度注視の必要あり、當分靜觀を續けるが併し當局は可及的に新條約の締結を期し、若し英米側が具體的に互讓の意思を表示すれば帝國政府も具体的數字を提示して豫備會商再開の機會を積極的に提議するに吝かでないとして專ら英米側が互讓の精神を發露するを期待してゐる、英米が誠意を示せば五月より行はれる英國皇帝戴冠記念祭典後外交交涉に入り、九月頃豫備會商は再開されるものと豫想されてゐる

本庄大將に男爵を奏請

關東軍宇都宮北支駐屯軍 滿洲事變論功行賞近く發令

【東京國通】滿洲事變の論功行賞は出征部隊としては宇都宮第十四師團騎兵、航空その他關東軍直轄部隊、北支那駐屯軍を殘す外は全部發令され之等部隊の論功行賞も來る二十日頃より逐次發令される事になつたが元關東軍司令官本庄繁大將は事變當時の軍司令官として武人最高の榮譽たる功一級金鵄勳章を授與される外男爵授與を奏請される模樣で故武藤信義大將に對しては本庄大將と同樣功一級金鵄勳章を授與され前關東軍司令官菱刈隆大將は桐花大綬章を、關東軍參謀長三宅中將、小磯中將、橋本中將は功二級又は功三級金鵄勳章、參謀長西尾壽造中將、同參謀副長板垣征四郎少將は功三級金鵄勳章を夫々授與されその他の幕僚に對しては金鵄勳章並に敍勳される模樣である（寫眞は本庄大將）

日本記者との會談に於ける 蔣介石の答辯

【上海十七日發國通】蔣介石氏は廬山に於て訪往の日本記者の質問に對して大要左の如く語つた

記者　日支提携の方法如何

蔣介石　日支兩國は東亞並に世界の大局から當然提携の必要あり兩國提携は道義より出發せば實現至難に非ず

記者　日本及び日本人に對する意見如何

蔣介石　日本の發展の速かなること、國民が忠孝、友誼の念に厚く禮儀を重んじ勤儉なることは感佩措く能はざるところだ、たゞ東方文化の固有の精神を拋棄し暴力崇拜の思想にとらはれて居るのは惜しい

記者　兩國關係[illegible]局打開要如何

蔣介石　道義二字に盡きる、支那は現在排日の行動を必要としない、たゞ國民は深刻な反清思想を持つて居る清室統治排斥の思想根强く三百年の奮鬪により、始めてその惡政の絆から脫し得た國民は今尚苦痛の實體を持つて居る、滿洲事變から一變して現段階に至つて此の反感は益々深い、史實の殘るところ如何なる力も之を消滅する事は出來ぬ故に日支提携について研究せんとせば此の國民心理の重要性を無視することは出來ぬ

（蔣介石氏）

記者　排日態度改變と排日教育に就いて

蔣介石　支那の教育の精神は仁愛互助の德性を養ふことに目標を置いて居る、たゞ教育及び思想の上から見て支那に對し侵略と侮辱を與へない樣にして與れゝば非常な好結果が期待される

記者　兩國經濟提携に就いて

蔣介石　これは先づ兩國間の現狀を正常關係に引戻すことを前提とする

記者　廣田外相の對支政策に就いて？

蔣介石　極めて抽象的ではあるが尠くとも兩國關係好轉の起點となつたと云ふ事が出來る

記者　國民黨の手段が排外的色彩ありと見られるが如何

蔣介石　孫文唱道の國民革命はその目的が支那の自由平等を求めるにあり、支那は近來此の獨立自强の精神に基き一個の現代國家を建設するために努力して居るから對外紛糾を惹起す事はない

記者　今後の兩國問題解決方策如何

蔣介石　兩國問題は正義を以て且つ外交方式を以て解決するを要する

記者　大亞細亞主義に對する意見如何

蔣介石　孫文の遺著にある通り

記者　支那は獨裁制を相當程度必要と思惟するが如何

蔣氏　支那はイタリー、ドイツ等と國情を異にする、支那は獨裁制を適當としない

記者　支那歷史上の崇拜人物は

蔣氏　非常に多いが私淑するは孫文

記者　日本の古今の尊敬する人物

蔣氏　維新前に於ては頼山陽、維新當時に於ては勝阿房、吉田松蔭

“五年後には英米は極東を放棄せん”

支那立法院長孫科氏時局談

【上海十七日發國通】立法院長孫科氏は十六日往訪の支那側記者に對し時局談を試みたが、特に東洋問題に於て「聯盟遂に賴むに足らず」との意味を述べ孫科氏が從來歐米依存派の巨頭として反日言動に終始してゐるだけに各方面の注目を惹いた、要旨左の如し

リットン卿はワシントンに於て英米の合作を說いたが其眞意は極東に於る英國の特殊權益を保持せんとするものであつて、支那のためを思つての事でないから吾人は假令英米合作が達成されたとしても樂觀すべきでない、現に英國々內の主張は保守黨の如きは終始日本と提携シンガポール以東は不問に附せんとの態度をとりシンガポール以東の權益拋棄を主張する者さへある、勞働黨も事情によつて平和を維持する事をその政綱としてゐる始末で賴むに足らず、結局英國は日本が英國殖民地を侵略する場合に於ての自衞の手段をとるに過ぎない結局英國は遠極地にあつて日本を牽制するが如き事は不可能である、要するに現下の國際情勢を見るに歐米各國は極東に於て日本と衝突する事を欲せず、只管事なかれ主義をとるに過ぎず、この間にあつて日本のみ獨り主動的立場を續けてゐる、故に自分の觀測では五年後には英米の極東に於る政策は拋棄を余儀なくされるであらう

陸軍國防補强計畫注目

【東京國通】林陸相は議會に於て昭和十年度以降も國防計畫の進められるを暗示し之が決定に就いては目下愼重に關係當局に於て考究を重ねて居るが

一、資材整備費二億圓は二年乃至三年計畫とする

一、航空、防空充實費は一億五千萬圓乃至二億圓を要求し兩三年間に完成する事に大綱を決定して居る

此十一年以降四億圓の國防補强計畫は勿論今後の國際情勢によつて多少改變されるが明年度豫算編成に當り海軍側の第三次補充計畫と共に注目される

イタリー民團軍愈よ出動す

【メッシナ十八日發國通】エチオピヤ政府の强硬態度に業を煮やしたムッソリーニ首相はフレンツエ、ナポリ兩師團に動員を下すと共に頻りに全國のファシスト民團軍に呼びかけて居るが、イタリー全土からの召集されたファシスト民團軍三大隊は既にナポリから運送船に乘り込み市民の熱狂的な歡呼裡に十七日夜半メッシナに到着した、右民團軍はペロリターナ師團第三聯隊と共に愈々十八日メッシナを出發一路地中海を橫斷しイタリー領ソマリーランド地方に向け出征する筈である、一方報國の血に燃えるイタリー全國の若人は續々列車で南下しつつあり、シシリー島は全くの戰時氣分である

イタリー動員兵力增加

【ローマ十六日發國通】エチオピア國境方面出動の準備として二ケ師團を動員したイタリー政府は其後エチオピア政府の强硬な態度に鑑み更に動員計畫兵力を增加するに決定した模樣であるが、一方には十六日東アフリカ殖民地へ向けファシスト民軍團三ケ大隊の出動を開始し全國を擧げてさながら戰時狀態を現出しつゝある

ローマ驛頭大混雜

【ローマ十六日發國通】ローマ驛頭は動員令を受けてシラキウス港を目指して馳參する本國兵士で大混雜の狀態を呈し又飛行隊は即日ローマに於てムッソリーニ首相の閱兵を受けた、本國軍團の出動が公式に發せられたのはエチオピア國境事件發生以來始めてのことで戰時裝備の兵士はムッソリーニ首相の激勵を受け民衆の歡呼と感激の中にローマを出發した

伊軍續々集結

【メッシナ十六日發國通】シラキユース及びパレルモ兩港に向つてイタリー軍隊は急行しつつあるが既にメッシナに集結した兵力は數萬に達したと稱せられ御用列車の到着毎に停車場は物々しい光景を呈して居る、當地で武裝萬端を整へた上出發命令を待つことになつて居るが愈々軍隊がシラキュース、パレルモ兩港から東アフリカへ向け出動するのは二月廿四日前後と見られる

改革後第一回省長會議 明日から三日間

◇三日間の會議日程

新地方制度實施後第一回省長會議は十九、二十、二十一日の三日間にわたり國務院會議室で開催されるが會議の日程は次の如くである

第一日

十九日は午前十時から國務院會議室で十四省長を始め鄭國務總理、藏民政部大臣各部大臣、各參議、日本側より西尾參謀、大使館、關東局、滿鐵各代表列席の下に開催され、鄭總理、各部大臣、西尾參謀長等の訓辭をもつて終り、正午十四省長は宮內府に伺候、皇帝陛下に拜謁を賜つた後賜餐が行はさせらる、午後二時新省長は南軍司令官々邸を訪問挨拶を行ひ午後六時から官邸における南司令官の招宴に臨む

第二日

二十日は午前十時から會議、午後六時から大和ホテルにおける鄭國務總理の招宴

第三日

廿一日は午前十時から會議、午後六時から大陸春における藏民政部大臣の招宴

竹下關東州廳長官來京

竹下關東州廳長官は十七日午後四時半アジアで關東局職員多數の出迎へを受けて入京した

排日土地法案を繞り アリゾナ下院で大激論

【ライニツタス十六日國通】アリゾナ州下院提出の外人排斥土地法案は目下委員會で審議中だが、賛否兩論相半ばし兩々對峙の形勢にあり、十五日の如き兩派の激論夜半に及んだが、遂に勝敗の歸趨を決するに至らなかつた、原案反對派は曰く

本法案は全く人種差別法でアメリカの國是に反するのみならず、徒らに國際關係を脅威するもので、特に之が太平洋を挾む日米兩國の將來の國交關係に及ぼす影響は實大と言はなければならない

と眞向から法案撤回を迫り、之に對し原案支持派は現在のアリゾナ州の土地法規は甚だ明確を缺き常に紛議の種となつて居る、我々は此際懸案を一擧に解決し土地法に關する將來の問題を一掃せんとするものであると應酬し更に討議を持越す事となつた

その日く

□治外法權撤廢の用意ある旨日本から近く聲明、善は急げ、せいては事を仕損ずる

□排日土地法案で米州議會に論戰の花咲く、米國にも正論家はあるものとみられる

□エチオピア、イタリーの紛爭どうにかものになりさう、黒田雅子孃の感想や如何に

□事變論功行賞、最後の分近く發表、本庄將軍に男爵奏請一將功なるにあらず

□自動車泥棒、新京署の果敢的捜査奏効捕縛、此の嬉しさはけふの喜び、怒るものじやない倉田さん

人事往來

▲川岸少將（元侍從武官長）十七日午前來京
▲入田嘉明氏（滿鐵副總裁）同ヤマトホテル投宿
▲山西恒郎氏（同理事）同
▲佐々木謙一郎氏（同）同
▲郡山智氏（同）同
▲村田省藏氏（大阪商船會社々長）同
▲李紹庚氏（北滿鐵路督辦公署督辦）十八日午前發ハルビンへ
▲陳克正氏（北滿監事會監事長）同
▲張文鑄氏（龍江省警備司令官）同
▲岡崎忠勝氏（羅沙商）同午後三時ハルビンより
▲河內由藏氏（官吏）十七日錦州より、中央ホテル投宿
▲土井和一氏（安東取引所理事）同上
▲森岡億太氏（醫師）奉天より十八日同上
▲竹下豐治氏（關東州長官）十七日奉天より、國都ホテル投宿
▲大和田彌一氏（關東廳庶務課長）同上
▲吉村英吉氏（海運業）十八日大連より、同上
▲藤永文發氏（奉天中山鋼業所員）十七日午後來京大和ホテル投宿
▲中山重雄氏（同）同十八日午前發奉天へ
▲田中喜代志氏（滿鐵社員）同
▲矢橋春藏氏（滿洲發明協會員）十八日午前來京大和ホテル投宿
▲赤司佐吉氏（滿鐵社員）同
▲舟田清一郎氏（ハルビン會社員）十七日午後來京大和ホテル投宿十八日午前發ハルビンへ
▲江原綱一氏（ハルビン稅關長）十八日午前發ハルビンへ
▲平田敏一郎氏（鐵路總局員）同
▲高瀨公太郎氏（奉天鐵道事務所庶務長）十八日正午發奉天へ
▲桑原明氏（ツーリストビューロー新京案內所主任）十七日午後大連から歸京
▲渡邊乙兵衞氏（ジャパンツーリストビューロー外人旅行部長）同大和ホテル投宿十八日午前發ハルビンへ

■■女八人感激時代■■

最後の切札八枚

（合作）御□咲子……葉□□子　大林梅子……若水絹子　澤□蘭子……夏川靜江　木下双葉……飯田蝶子　（挿畫 大附喜史雄）

＝限りある人生＝　夏川靜江作

61　路上（三）

「いゝわ、きつと默らずに待つてゐるから、十一時までに歸つてくるのよ……でも、どんな都合で晩くならないとも限らないから、やつぱり、あたしが云つたとほり、十二時まで猶豫するわ。そのかはり、十二時が五分おそくなつても、罰金よ」

「罰金？」

「さう！今日のおこづかひ、十圓罰増しを申しつけてよ」

「よし！十圓ぐらゐなら、罰増しつけられよ」

「あら、おや、おそくなるつもり？」

「十圓出したらいゝんだらう」

「駄目よ、駄目よ、それぢや二十圓にするわ」

「ふゝゝ。急に、罰金が高くなるのかい？いや、冗談だよ。とにかく十一時迄にはきつと歸る」

「きつとネ？」

「大丈夫だ！」

[illegible]りきつた圓タクを止めて

「あは、どこまでも徹底してやがる。とにかく、君といつしよおや工合がわるいんだ。あの連中に君の姿を見られては、一寸不可ないことがあるんだから、僕の云ふこと肯いて、默れよ」

と、云つた。

「ぢやア、許したげるわ。そのかはり十二時までに歸つてくるのよ。それまで自由行動。あたし、先に寢て待つてよ」

「よし、十二時なんて、そんなに晩くなりやしないよ。十一時までに歸る。そのかはり、君が默つてなんかゐればこの間の約束を履行しないことにする」

「この間の約束つてブローチ買つて下さること？」

「うん」

佐々木が女を、乘せて濫りかへさうとしてゐると、雨の中から周巾の濃い人影があらはれた。自動車のルウム・ライトがあふれて、そこらは明るくなつてゐるのだつた。

近づいてくる顔と、佐々木とふと眼が合つた。顔を持つたするどい視線が、佐々木の顔を[illegible]過した。そして、そのまゝ、大きなうしろ姿が、露世子の家の方へ入つて行つたが、それは、盛田だつた。

×　×

「ねえ例の問題、どうする？」

「例の問題つて、ロンドン行きのこと？」

「さうよ。よく極めておかなくつちや、駄目よ。いつ出發する？」

「さあ、僕の方は、いつでもかまはないんだが……」

「あたしの方だつて、いつでもかまはないわ」

こんなことを話しながら、ふたりは、一寸顔を見合つて、だまり込んでしまつた。

階下では、女中と遊んでゐる陸の聲がしてゐるだけで、あたりはがらんとしてゐるほどしづかさだつた。

錦沙子夫人は、高村の方へすり寄つて行くと、輕く、肩に手をおいて、

「ねえ、何時にしませうか？もうすつかり準備は出來てゐるのよ」

「それぢや、一日も早くしませう。明日でも、僕のはうは差支へないんです」

「まあ、それでも、あんまり氣が早いわ。さう足許から鳥の立つやうでも、まるで逃げ出したやうで面白くないわネ」

自動車窃取の犯人 遂に新京署で逮捕

一旦扶餘縣でも捕はれ逃走 建設事務所の運轉手

既報新京銀座街料亭八千代館の前に置いてあつた大タク自動車が僅か二、三分の間に何者かに窃取された新京は勿論滿洲としては未だ類例を見ない自動車窃取事件は農安街道で自動車の發見と共に新京署司法係倉田主任以下必死的捜査の結果十七日午後四時三十分頃犯人梅ケ枝町壽アパート居住富田武を逮捕した

逃走足跡を求めて 新京署の大苦心

池田刑事部長等の殊勳

本月十日午前二時三十分頃市内料亭八千代館前に於て大タク自動車（自動車番號四九六號）が僅か二、三分の間に窃取逃走された事件につき新京署司法係は直ちに新京市内は勿論、吉林、ハルビン、農安其他滿鐵沿線に電報手配し又は署員を派して嚴重捜査中の處本月十三日

犯行 の二日後扶餘、農安の中間劉家店部落王某方に盗難自動車に似の自動車を發見し直ちに井上刑事以下五名の署員を派遣した所被害自動車に相違なくまた自動車を檢査するにタイヤはパンクして豫備タイヤと取替へておりガソリンも欠乏してゐる、然も自動車には施錠し先端を農安方面に向けたまゝになつてゐるので犯人は扶餘方面を迂廻して引返へし新京方面に混入つたものと見込みをつけ新京市内の足跡扶餘方面の立廻はつたあとを調べる中犯人はハルビンに逃走する豫定であつたものか扶餘から川づたひに長春嶺に到り十一日夕方長春嶺自警團に擧動不審のため取押へられ扶餘縣公署に

引致 されたが「農安まで客を送つて來たものだ」と巧みに申立て縣公署をのがれタイヤがパンクしたまゝ引返へした確證を握つた、更に新京までの足跡を辿つて見ると大　新京通ひの自動車に乘車、途中清水組の自動車に乘りかへ十三日の午後四時頃南廣場で下車した事實を握つたが、犯人は常に顔をかくしてゐたゝめ容易に逮捕するに到らず捜査續行中の所、扶餘縣公署で取調べの際大阪市東區伏見町二丁目二十四番地現住所新京東三條四十七番地富永武（當廿七年）と申立てたのでこれを根據とし新京署に於ては犯人は大阪の地形を知つてゐるものと睨め居所氏名を知能的に監察し犯人の認定につとめた結果元大阪市伏見にゐたこと判明、住所附近には見かゐて

地形 をよく知つてゐる富永の「富」と「武」について市内の自動車運轉手を取調べた所、人相酷似の男滿鐵建設事務所にあり然も十三日まで勤務してゐない事實をつきとめ十七日午後四時三十分頃池田刑事部長の一隊は市内梅ケ枝町壽アパート内に於て犯人を逮捕するに到つたものである（寫眞は犯人富田武と盗まれた自動車）

ハルビンで 水商賣をする心算

犯人富田の陳述

犯人は本籍兵庫縣津名郡安平村鹽秋宮原組五百三十番地現住所新京梅ケ枝町壽アパート内滿鐵建設事務所自動車運轉手富田武（二十八年）で富田は當夜料亭三浦屋に行く積りで和服姿のまゝ八千代館前にさしかゝると自動車があるのでむらむらと盗心が起りハルビン方面に持つて行き賣飛ばし水商賣をする積りであつたと申立てゝゐるが尚嚴重取調べ中である

感謝のみ

大タクの話

自動車を窃取された大タクでは犯人逮捕の報に喜びながら最初から別に店に怨を持つてゐるものの所業とは思ひませんでしたが、意外の犯人に驚きました、署の方々の働きによつて犯人がつかまつたことは感謝に堪へません

事件が事件だけに 全力を擧げた

倉田司法主任談

自動車犯人を逮捕した新京署倉田司法主任は逮捕に到るまでの苦心について語る

今回の犯人は滿洲として稀に見る犯罪で將來影響する所が大きいので署としては全力をあげて捜査しましたが犯人は巧みに足跡をくらまし手古ずらせましたが天網恢々粗にして洩らさずと申しませうか扶餘縣公署に於て申立てた本籍、住所、氏名にヒントを得これを知能的に解剖し遂に逮捕することを得ました、何も自分一人の功名ではありません刑事諸君を褒め署員努力のたまものと感謝してゐます

運動

フイギユアーは 新京軍に凱歌

第一回 全滿都市對抗氷上

第一回全滿各都市對抗氷上大會は十七日午前九時より兒裝なる西公園リンクに於いて新京体育聯盟、滿鐵運動會新京支部主催、滿洲体育協會主管の下に本年度シーズンの最終を飾る豪華の色彩を以て開催され、氷上滿洲が育んだ精鋭軍の熱戰は怒ち殺到の觀衆を熱狂の渦中に捲込んだが昨夕刊既報後の經過は左の如くである

午後二時を過ぎる頃より漸來の暖氣加はつて遂に三度に達する暴騰を來し、ためにリンクに緩みを加へてコンディション頗る惡く、午前中續出の好記録に比し午後は見るべき記録も出ずスピード競技は聊か調子を落して了つた感を懷せる

△女子リレー　千六百米

一等　奉天チーム（オープンコース）　木谷、扮陽、瀧）　三分八秒五

二等　新京チーム（梨瀬、稻垣、大谷、飯根）　三分一七秒二

三等　安東チーム

四等　撫順チーム

△都市對抗リレー（男子）三千二百米（オープンコース）

一等　安東チーム（執行、大隈、朴、木谷）　五分四八秒六

二等　奉天チーム（橋本、安部、平田、鍋本）　五分四八秒八

三等　新京チーム（山田、大川、朴、橋本）　五分四九秒六

四着　撫順チーム（三壇、小倉、石塚、三代）

（得點）

安東一〇點　奉天八點　新京　六點　撫順四點

大會終盤の呼ものだけに流石に場内騷然たるものがある、最初より新京、奉天、安東と鼎形となつてせり合ひを演じ新京第三走者朴君斷然頑張つてトップを切つたが、第四走者の時安東木谷、奉天鍋本兩君の實力ある快走に惜しくも身体一重の差で第三位に墜ち一方午前中の戰績から最優勢をを豫想された撫順軍は此の一レースに於いて第四位に墜ちたため得點において安東軍に五點のリードを許し意外な番狂はせを演じて了つた、かくてスピード競技の王座は安東軍の占むる所となる、各都市の得點は左の通りである

	五百	千	千五百	一萬	リレー	計
奉天	二	三	一	二	八	一六
新京	三	三	三	四	六	一九
安東	四	五	五	十	一二	三九
撫順	五	五	六	四	四	二四

ホツケー競技

午後三時半より奉天對撫順の決勝戰に入る、學生チームである奉天軍に對し混成チームである撫順軍の苦戰はチーム・ワークの點で既に前者に一歩を譲り絶えず押され氣味で七對五のスコアに惜敗を喫する試合終了午後五時

奉天	五	〇	二　七
撫順	二	二	一　五

フイギユアー競技

△女子オープンスクールフイギユアー

一等　吉弘孃（新京）　點

二等　田村孃（大連）　點

三等　池見孃（奉天）　點

四等　宮澤孃（新京）　二點

五等　坂田孃（新京）　六點

△都市對抗（男子）スクールフイギユアー

一等　松原君（大連）三點

二等　谷戸君（新京）六點

四等　田中（弟）君（新京）九點

五等　田中（兄）君（同　）三點

試合終了後直ちに選手一同はフイギユアーリンクに集合、優勝カップ並に賞品授興式が行はれた、久保田會長の手によつてスピード競技は安東軍に、ホツケーは奉天チームに、フイギユアーは新京軍に夫々光輝燦たる新京林育聯盟寄贈カップが手渡され、個人賞としては女子五百米に新記録をつくつた瀧三七子孃を初めとし安東の木谷、新京の朴、撫順の小倉三君、フイギユアーの大連松原、新京谷戸、同田中兄弟四君の手にまた夫々賞品が授與される、終つて滿鐵河本理事の閉會の辭あり君ケ代合唱後萬歳を三唱して午後五時十分この意義ある第一回全滿都市對抗氷上大會の幕は閉された

進行主任 木谷辰巳氏談

本大會進行主任木谷辰巳氏（奉天軍監督）はスピード競技終了後次の如き感想を述べた

アウトシーズンでコンディションが惡い關係もあつたが、大体として余り香しい成績であつたとは言へない、南洞君等一流選手達の力走が見られなかつたのは何んと云つても寂しいことだが女子の方は瀧、梨瀬、雲岐姉妹等錚々たる顔振れだ、た新記録はこゝのリンクの半徑が規定のものより大きいので公認記録と認む譯にはゆくまいが更に擴大したものだ、それから觀衆が多かつたこと、ちよつと他にこんな例がない、新京の人達の熱と理解のしからしめたものと思つてゐる、來年は少くとも一週間は期日を早めて、リンクも規定通りのものとして全滿大會としての權威を加へたいと思つてゐる

酷寒の滿洲で 日本刀を打つ

刀匠南紀重國氏が新京で

けふ打初め式擧行

昭和日本は燃ゆるやうな日本精神の勃興によつて甦つた、新興日本のゆくところ正義の大道は拓け赤誠にあふれた大和魂は躍る、正に武士道の更生である、武士道を

東洋 の天地に輝かし東洋和平の新世界を築きあげることそ我が同胞の尊き使命である、日本刀を通してこの武士道の魂を友邦滿洲國に建設すべく刀匠南紀國重こと念垣栗瑩治郎氏は和歌山縣からはるばる來京、十八日刀劍鍛錬の第一歩をふみ出した、和歌山東牟ろ郡三里村伏拜の刀工南紀重國こと念垣栗瑩治郎氏（五一）は滿洲國において日本刀の鍛錬方法を研究し滿洲の氣候風土に適せる刀劍を完成して日本刀を通して日本魂の精髓を新國家に知らしめ更に在滿同胞の士氣を鼓吹するため去る一月來京、新京興安胡同二一〇昭和會住宅内に刀劍鍛錬所を造りつゝあつたが、このほど竣工したので十八日午前十時から關係者を招き嚴肅な打初式を行つた、從來滿洲において鍛錬された日本刀はかなり多數にのぼつてゐるが、嚴寒零下數十度に低下するためしばしば折れるやうなことがあり

滿洲 における刀劍鍛錬は悲觀視されてゐたが、刀匠南紀重國師の鍛錬によつて生るべき新鍛錬法は滿洲刀劍界に新精神をもたらすものと期待されてゐる、滿洲事變勃發なりし頃、白布を巻いた日本刀を背に滿洲聖戰に出征した皇軍の勇姿をみて感じたものはたゞ萬睦の信頼であつた、今日陸軍々人の帶刀制度の改正が斷行され洋刀を廢して純日本刀に更へられたのは武士道の象徴たる日本刀の犯しがたい神性と昭和日本維新の輝しい前途を物語るものである（寫眞は打初式）

重國師語る

打初式を了へて重國師は語る

日本刀の由來は草薙劍に起つたもので實に皇國三千年の傳統にはぐくまれたものです、滿洲事變以來日本精神の更生によつて日本刀が全國民から尊重され愛用されるやうになつたことは誠に喜ばしいことです、今日から私は滿洲の土地に適した刀劍を鍛錬するため全努力を盡す決心です少しでも日滿兩國民の志氣を鼓舞することができましたら私の仕事は報ひられたことになります（寫眞は南紀重國師）

國策遂行に 献身の父に せめて潤ひを

南軍司令官の愛孃寛子さん 元氣で昨夜新京着

出でては三軍を叱咤し忠誠な皇國の干城となり家にあつては子供達の良き父となる、今を時めく關東軍司令官南大將にひたすら藝術に生きんとする令孃寛子さんのあることは滿洲建設にひたむきに身を打ち碎く將軍であるだけに微笑しいものを感じさせる

父君南將軍の許にあつて限りなき愛に抱かれて繪畫製作に精進する念願が叶つて司令官の次女寛子さん（二五）は十七日午後九時着ヒカリ號で靜任の途にある關東軍奥田中佐に伴はれ岡田少佐を始め西尾參謀長夫人やお友達に迎へられて來京した、黒と燕脂のツウピースにクリーム色のオーバーをまとひ茶かつ帽を無雜作にかぶつた寛子さんは明朗な近代女性である、はち切れるやうな希望にあふれた寛子さんはホームの人となるや西尾參謀長夫人やお友達と明るい挨拶を交へた後美しい面に微笑をたゝへて出迎の記者に元氣よく語つた

記者『お父さんの御病氣でゐらしつたんですか』

令孃『いゝえ、以前から滿洲に來たいと望んでゐました』

記『新京で何をなさいますか』

令孃『一年程みつちりと繪の方の勉強をしたいと思ひます』

記『東京では滿洲國をどんな風に考へてゐましたか』

令孃『明るい大陸だと考へてゐました』

記『閣下は大變嚴格なやうですが、家庭の父として子供さんにはいかゞですか』

令孃『家庭ではほんとに優しい父です』

記『國策遂行に獻身してゐる將軍に寛子さんの來京はよき潤ひとなるでせう』

令孃『父には喜んでいたゞけることゝ信じてゐます』

寛子孃は女學校卒業後女子美術に入學三年間の藝術精進の月日を閨秀畫家として送り、昭和七年秋の帝展にはみごと初入選の榮冠をかち得た將來を期待されてゐるひとである（寫眞は驛頭の寛子さん）

昨夜官邸で 久々ぶりの親子

この晩軍司令官々邸で來滿以來の初對面を交へた孃と子は武人として將軍ゝ全權大使の要職を脱ぎ捨てた人間味たつぷりな親子であつた

寛子さんを語る よし子さん

大連から奉天まで出迎へたお友達のよし子さんは新京驛頭で寛子さんを次のやうに語つた

寛子さんは趣味の多い方ですが殊に繪のご勉強の熱心ぶりは驚きます小學校のころは運動も盛んにやつたことゝ聞いてゐます

小泉軍醫總監 歡迎晩餐會

滿洲視察中の小泉軍醫總監を迎へて滿洲國では鄭國務總理並に張軍政部大臣が主人役となり、十七日午後七時ヤマトホテルに歡迎晩餐會を開催したが、參集せる名士は張侍從武官長、臧民政部大臣、謝外交部大臣、沈榮參議、矢田參議、冊參議、佐々木軍政部最高顧問其他國務院軍政部關係者多數で盛會を極め同九時散會した

恩賜財團 普濟會で 僻地に常備薬

滿洲國皇帝陛下の御下賜金百萬圓で創設された財團法人普濟會では昨年度中の利子二萬圓をもつて先月末日本から各種藥物三十萬炎を買ひ、僻地農村各地に常備藥として配布した

公會堂理事會

けふ愈よ開く

例の映畫直營案の運命を決する新京記念公會堂第三回理事會は豫定通り十八日正午から同公會堂内で開催、一同會食のうへ協議に移つたが當日は

一、昭和九年度實行豫算確認に關する件

二、各所改造に關する件

三、各室使用料改正に關する件

四、映畫演藝特別會計案に關する件

五、會計事務取扱暫定內規に關する件

六、一般報告

などを附議した

十八日の放送プロ 一部變更さる

十八日民謠の夕は中止し左を編入す

自後六、五〇至後八、一〇　新京日滿藝術協會第二回公演

一、メロドラマ　運命のジルダ　記念公會堂より中繼

糸井光顯編曲　スペイン處街の酒場

配役

コルマ（旅藝人）　糸井光顯

ジルダ（その　養　女）　秋月喜久枝

マリオ（酒場の若主人）　星野　實

オルガ（酒場の踊り娘）　金澤緋呂子

マリネ（同）　山田花子

ナイフのメンカイロ（酒場の客）　篠原一雄

カチボリのレオンガード（同）　…

其他　酒場の踊り娘客等大ぜい

二、音樂舞臺演奏　數曲

明日の天氣　南西の風一時曇

日出　午前六時三十三分

日入　午後五時十三分

月出　午後六時十一分

月入　午前六時三十四分

けふの氣溫　最高　四度　最低零下十三度三

長春回顧　本日休載

第卅壹期決算報告

（自昭和九年八月一日 至昭和十年一月卅一日）

貸借對照表

（資産之部）

科目	金額
未拂込資本金	三九〇、〇〇〇、〇〇
預金	[illegible]
建物	[illegible]
專用線	[illegible]
什器	[illegible]
倉庫用材料	[illegible]
有價證券	[illegible]
假拂金	[illegible]
未收金	[illegible]
立替金	[illegible]
對國幣勘定	[illegible]
現金	[illegible]
合計	[illegible]

（負債之部）

科目	金額
資本金	三〇〇、〇〇〇、〇〇
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
建物及專用線償却積立金	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
社員身元保證金	[illegible]
假受金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
合計	[illegible]
國幣勘定	
科目	金額
預金	[illegible]
合計	[illegible]
對國幣勘定	[illegible]
合計	[illegible]

昭和十年二月十六日

新京 倉庫運輸株式會社

新撰爆笑隊（禁上映上演）

辰野九紫作　永田八浦關英太朗畫

時代篇

二

成金前奏曲（二）

「おい、おい。稲荷お稲荷さんの御前なんぞで眠が覚りますぜ」

と指さしたのは紅顔で風になぶられてゐる手拭――どうやら、それは赤い鳥居の端にぶら下つてゐるのを、盗り取り見取りで失敬して来たものらしい。

「あッ、こいつはいけねえ。隠々々」

挿み奉つた鶴吉の貧乏姿に苦笑して、それこそ時は金の長居無用とばかりに、上野の金貸せは隣へ入つて行つた。

それから後で見送つた鶴兄イは、何の所在もない徒然を、破れ傘にごろ寝して、當時流行つたスットコトン節をやり出した。

一文無しでもぜニはぜニ

一夜落ちても要は紀

たとへ草鞋の紐緒でも

切れて寝醒めのよいものか

スッテンコロリン

スットコトン……

不景氣な唄の文句が二つ三つ繰りかけられてから、また誰やらの聲がする。

「聞ンちゃん――貴在宿かの？……」

「いよう、診察好來――そこは端近、ずツとお通り……」

「抜けられます――と書いてねえぞ」

「ヘテナ、どこかの蘭文で見たやうな氣がする」

「つまらねえ詮議だてより、少し相談があるんぢやが、貴公、一分拝せたねえか」

「ヘツ、生憎だつたナ、一足違かりし――四兵衛……」

「誰か來て、浚つて失せたか」

「うん、たつた今――上野の時の鐘がやつて來て、有金残らず出せと抜かした」

「ほほう、貴公の家では寂滅代を溜めてゐたとみえるの」

「鐘料行の鐘にも寢はぜアなる

めえ」

「なんの、穏なんざ、物心ついてから一度も出した覚えがねえ」

「それは聞きもの――何とする？――」

「ただではちよいと……」

「困つてゐるから救へろと申す」

に友達甲斐のねえ野郎だ」

「有金残らず――様はねえのか……」

「歌ふばかりで、これもオシ……」

「ははは、驚きやアがれ。――一文借りても借りは借……か」

「うん間違――それが四つ隣たとて白銀にもならねえ。とんだ江戸ッ子の生恥をさらした」

「そんなことぐれえに驚く野郎があるかよ。もちつと氣を彈く持ちな」

「アイ、氣の弱いのが玉に瑕と花魁も膝を打ちなんした」

「ふん、自惚れだけは相當なんぢや」

「お前の家では幾月溜めた？」

「無體――數知れずとだアい……」

「ほほう、それで近所に鳴鶏が啼くねえのか」

「聞いにもなんにも、あの奴さん――アンデ、家は素通りさ」

「成程――その手を一つ籠借りに預りてえ」

「なんの、造作もねえこと――時の鐘なんぞ聞こえると、堀て耳隠はりで命の縮まる月の方が多いや」

「匿えねえ」

「そこで――頼むから、隣が家だけ聞こえねえやうに、筋道を繕いや見れたお願えした」

「そいつはエレキの家元平賀源内先生でも、無理かもしれねえ」

閑窓、何兵衛は聞々しく押しの一手――二月三月と來る節季に、まだかく〜の逆モーションを喰はせるので流石の集金人も後の祭だけは酷に遠慮して、現在江戸にサオサメレた仲であるとか。

○……

ラヂオ

十九日（火曜）新京

午前之部

六、三〇　ラヂオ體操（滿語）
六、五〇　ラヂオ體操（東京）
六、一〇　中等滿語講座（大連）　講師　秩父國太郎
七、四〇　日語講座（奉天）　講師　近藤喜助
八、三〇　經濟市況（東京）
九、四〇　經濟市況（大連）
一〇、〇〇　料理獻立（奉天）
一〇、二〇　經濟市況（大連）
一〇、四〇　經濟市況（東京）
一〇、五九　時報（東京）
一一、〇一　經濟市況（東京及大連）
一一、四〇　ニュース（東京）

午後之部

〇、〇一　經濟市況（大連）
〇、三〇　ニュース
〇、四〇　ニュース（滿語）
〇、五〇　演藝（レコード）（滿語）
二、〇〇　經濟市況（大連）
二、二〇　成人講座（滿語）　滿洲國之地誌（第二講）　新京特別市立女子中學校教諭　孫鴻業
二、四〇　日用品値段（滿語）
二、五〇　經濟市況（東京）
三、〇〇　ニュース（東京）
三、三〇　經濟市況（大連）
三、五〇　ニュース
四、三〇　ニュース（鮮語）
四、四〇　演藝（鮮語）
四、五〇　ニュース（英語）
五、〇〇　子供の時間（東京）　唱歌と唱歌劇　奉天普通學校兒童
一、獨唱（イ）我が駒（ロ）つばき　補一男　李正一
二、齊唱　五年　赤坂城
三、唱歌劇　雷さまの失敗　五年　崔啓福　外十名　五年　白宗元　外十四名
四、獨唱　からす　五年女子　金愛顯
五、二五　氣象通報　番組豫告
六、〇〇　ニュース（東京）
六、二〇　政府公報（滿語）
六、三〇　國民の時間（滿語）　說我省政　三江省々長　金名世　黑河省々長　鍾毓　熱河省々長　劉夢庚　間島省々長　蔡運升
七、〇〇　聲色（東京）　吹寄せ　柳亭春樂
七、二〇　詩の朗讀（大阪）　川路柳虹
伴奏　大阪ラヂオオーケストラ　伴奏作曲並指揮　宮原禎次
一、獨唱　ポル、ヴェルレーヌ作　上田敏譯
二、秋　オイゲン、クロアサン作　上田敏譯
三、雨の唄　三富朽葉作
四、青春　川路柳虹作
五、ゴルキー「夜の宿」　川路柳虹作
七、四〇　小唄（東京）
一、……唄
（イ）あけぼの（ロ）うかひの後で（ハ）鳥　三味線　藤村孝壽　唄　藤村孝影　藤村孝千代
（イ）さくらさくらと　唄　藤村孝壽　（ロ）野暮な屋敷　替手　藤村孝千代
七、五五　浪花節（大阪）　壺坂寺お里澤市物語　（京山幸千代改）吉田駒之助
八、三〇　時報　ニュース（東京）
引續き　ニュース
八、四五　ニュース、氣象通報　番組豫告（滿語）
九、〇〇　演藝（奉天）
一、（イ）單刀赴會（ロ）龍鳳配　唱　趙濟洲　司鼓　賀國全
二、相聲　李永寒
打白狼　醒醒
一〇、〇〇　北滿の時間（露語）（哈爾濱）
一、講演　ドストエフスキーと露西亜　メウイドフ
二、レコード
三、ニュース

雄辯（三月號）

◇雄辯三月號の醫學界秘話座談會を讀んで、眞つ先に感ずることは、北極や南極の探險もいゝが、それよりもつと手近な、人類がもつ自體の生命や生活の中にまだ〳〵多く探檢すべき神秘境があることだ

◇むろん、この座談會で、神秘境の扉を開くことは出來ないが、一寸覗かせる程度には行つてゐると一云つて、われ〳〵には驚異と感嘆の連續なのではあるが――

◇雄辯ファンは、時局ものを喜ぶ讀者が非常に多いらしい、その方面へは、こんどの三月號こそ、寶の山へ踏込んだも同然である。

◇まづ「政界の巨頭久原房之助論」「町田忠治論」「世界外交界の三大人物―サイモン、リトヴィノフ、ハル」は何れも人物論ながら、時局論とも見ることが出來る

◇聯合艦隊司令長官高橋三吉中將の縱横談、法學博士蘆田均氏の「一世界は日本を何と見るか」等には、大局的時局觀に讀者を堪能させるものがある

◇對論「暑中休暇を廢止すべし」は目下の所廢止說にクミしたい氣かするが、社會的年中行事の一つとなつたこの問題には、いろ〳〵議論があつて、一讀に値するものとなつてゐる

◇横山健堂、澤田謙兩氏の「大人物を語る對談會」は洗石人物語では一方の重鎭である方々だけにその言々、眞に珠玉の貴さを示してゐる

火曜　二黑
丙寅　月正
佛滅　十九
建　十五
室宿　日日

●一白の人　次第に順調の日なれど金錢餘談淡白からず　甲と丙と丁が吉
●二黑の人　誠意十分なれば勝利の榮冠を握ることを得　乙と未と壬が吉
●三碧の人　元氣の湧き出づる日なり大いに奮鬪して吉　甲と庚と辛が吉
●四綠の人　元氣壯なる日にして新しき事に尤も吉なり　丙と丁と乾が吉
●五黃の人　奮起勉勵すべし引込思案をする時にあらず　甲と卯と癸が吉
●六白の人　定業以外の事業には成るべく手控へを要す　巽と辛と壬が吉
●七赤の人　頭寸り先きに出で、足の思ふ樣に進まぬ日　辰と未と癸が吉
●八白の人　行詰り居たる計畫も追々と端緒を得べき日　卯と壬と癸が吉
●九紫の人　安心の樣に見えても危機を生ずることあり　丁と庚と乾が吉

驚異的發展を納めた 中銀元年下半期

二月末第五回株主總會を開催

國內金融統制の重大なる使命を帶びて大同元年七月創設された滿洲中央銀行は爾來亂雜極まりなき通紙幣氾濫の眞只中に五色旗燦たる國幣を振りかざして登場以來、第五回の決算期を經て來る二月末第五回株主總會を開催する事になり幣制統一の大業を完成した同行は、愈々本格的な一國の中央銀行として昨年末新銀行法により認可を與へられた全滿普通銀行を從へて國內金融統制に華々しき門出が期待されるに至つた、目下同行では總會提出の議案、總裁演說其他書類の調製中であるが、康德元年度下半期の爲替取組高、預金貸出高、貨幣發行高は左の如く、同行の發展性堅實性を現はすものと各方面の注目を惹いてゐる

□

爲替取組高は大同元年末に比し約二倍の四億八千百萬餘圓を算し國內金融の如何に中央銀行に對する依存性の大なるかを示し、一方日本及び中國宛爲替取組高も大同元年末に比し約四倍の千三百二十萬圓餘と激增振りを示し殊に支那向爲替金は千萬圓を占めて爲替銀行なき滿洲國の現狀に照し國幣價格維持の爲の上海市場操作の如何に重大なるかを示して將來の爲替銀行設置に一つの暗示を與へるものとならう

□

一方預金貸出高を見るに大同元年末の五千萬餘圓に比し二倍以上の一億餘圓を算し國民の預金思想の普及を表はしてゐる、又政府預金に就て見るに大同元年末の一千六百萬餘圓は四倍に近い激增振りを見せてゐるが、建國と同時に設けられた國庫金制の全滿的普及により新國家樣式の財政機構が堅實なる步みを見せてゐる事を示してゐる、一方貸出を見るにこれも大同元年以來漸增の跡を辿り一億六千五百萬餘圓を算して預金高に比し六千萬餘圓の超過を示してゐるが、建設事業の進行と各般の經濟開發に伴ふて資金の需要は今後共益々增加が豫期せられ擔保物件の精選を誤らざる限り發券銀行たる以上貸出額の預金高超過は問題とすべきではなく、寧ろ建設開發に要する資金の需要に對しては今後とも積極的援助が期待せられる

□

次に貨幣發行高は大同元年末の一億五千餘萬圓より一伸一縮昨年末には一億八千四百餘萬圓を算し連日發行新記錄を現はして本年の特產景氣に順應してゐるが、特產出廻一服と共に漸減が豫期されるが今後國民經濟の充實と相俟つて現在の二億、三億を突破するのは豫想に難くない

鑄貨の激增は驚くべきもので大同二年六月末には十四萬四千餘圓であつたのが昨年末には千五百七十七萬餘圓と百倍以上の激增振りを見せて居るのは需要に並行して發行を增す一種の管理通貨制をとる滿洲國としては富の下層階級に及ぶ事如何に大なるかを示し一般國民の富裕を如實に表して王道政治の浸潤を示す好箇の尺度と見られる

□

とまれ國運の進展に伴ひ各般の制度は日々完備して日進日步の新興國の中央銀行として同行今後の機能發揮は外に動搖常なき支那その他の銀行介在するあり今後の金融統制上幾多の難問題に逢着するなきを保し難く、幣制統一の大業を完成した滿洲中央銀行今後の活躍は刮目に値するものがある

	大同元年下半期	康德元年下半期
爲替取組高（內國）	二三一、一五九、一七七、三三	四八一、八四五、六五三、三六
同（中國日本）	三、九五八、一〇三、四一	一三、三三九、一〇三、八八
預金高	五〇、二九一、〇〇〇、〇〇	一一、三七一、〇〇〇、〇〇
貸出高	一二三、九三七、〇〇〇、〇〇	一六五、〇九三、〇〇〇、〇〇
貨幣發行高	一五一、八六五、三九五、〇〇	一八四、一〇四、九六六、〇〇

農業移民會社設立案 來議會へ提出

今年一杯に決定案を得て

【東京國通】滿洲移民に就ては十六日の貴族院豫算總會に於て活潑なる質疑應答が重ねられたが

現在

の滿洲移民は所謂自衛移民で滿洲事業拓務省に於て之が積極的指導獎勵を爲し軍部と協力の下に昭和七年の第一次移民以來年々五十萬圓の經費を計上、之が獎勵を爲し來つたものである、殊に兒玉拓相の就任以來在滿機構の改革によつて對滿政策が整備されるに至つたので專ら移民事業に全力を傾倒、從來の自衛移民の他來年度よりは農業集團移民を送つて滿洲の計畫的開發に從事せしむべく決意し在新京の今吉事務官は昨年以來關東軍と協議の上現地案を携行目下東上して軍部と折衝具体案を練りつゝあるが、當初計畫せるが如き資本金五千萬圓程度の大移民會社案への暫定案として日滿合辨半官半民の農業移民會社設立案を基礎として具体案の作成を急ぎ、大体の成案を得次第拓務陸軍兩關係省に於て協議を進める事となつたが、尨大なる

計畫

である爲今年一杯に決定案を得て來議會への提案となるものと觀られる

下半期日銀純益金

上半期より激減

【東京國通】昭和九年下半期日本銀行營業報告に依れば當期純益金は七百九十四萬一千圓で、これを前年に比すれば二千八百十六萬圓の激減を見せたが、これは主として前期に於ては巨額の公債償却を行ひ之が賣却に依て莫大な利益を計上せるに反し今期は新たに引受けた公債の償却分が未だ實現額が少いため純益として計上されなかつた爲である、而して今期利益金分配內譯の中政府納付金は四百八十萬三千圓で昭和九年度納付金として政府豫算に見積られた額は約二千七百萬圓で今期と前期とを合計した政府納付金額は三千三百一萬五千圓なる爲め政府としては豫想外の增收を得た譯である

滿洲國 爲替管理

實施に對する是非論（四）

然し茲に滿洲から支那向き資本投資に就いて注目すべき一つの新觀測が最近下された、それは次の如きものである

現下日本は金、銀、物資等の海外逃避には資本逃避防止法と外國爲替管理法とに依つて統制されてゐるが、滿洲國では是等の統制法なく國外逃避に對しては何等の對策を講じてゐないので、一度日本が滿洲國に投資した資本は若干は止つて新規事業に費ぜられるであらうし、又若干は日本に再歸するが如き好還流か繰返される事であらうが、然し昨秋以來アメリカ政府は銀買上政策を強行して以來世界の銀塊は騰勢を辿つて鐵粉に對する磁石の如く總て米國に吸收されつゝある世界經濟事情として此際銀に對する投資は弗買同樣目算外れのない事業であらう

これは日本からでは前記の如く資本逃避防止法或は外國爲替管理法等によつて、實行は困難であるが、一度その統制のない滿洲國では此の事業は實に茶飯事な好投資と言はねばならない、隣國支那は之れがため銀の買妊狀態となつてゐる

この際、無防備の滿洲國境を越へて日本より投資された資本が、支那に逃避、否、流出するのは自然の現象であつて日本の如く防備の嚴重な國であつてさへ奸手段を弄せば、出來得る方法無きにしもあらずとされてゐるとき、滿洲に於ては尚一層容易な事であらう故に一度滿洲に混入つた資本が、無事そのまゝ滿洲に止り、或は日本に再歸することは、受取り難いと爲政側で見れば見る程濃厚となりはしまいか

かくの如き際、日本が如何に資本逃避防止法とか外國爲替管理法等の城壁を嚴重にしても、滿洲國が此の狀態である

と日本の資本は滿洲といふ間道を通つて支那に逃避し更に銀となつて米國、英國等に流出されるとなれば日本國民經濟上看過することの出來ない重大事と見なければならない故に日滿經濟ブロックの强化を圖るなれば、滿洲國も日本と協力して資本逃避防止や爲替管理を行はねばならぬ、それが完全に行はれてこそ初めて眞の經濟的日滿ブロックを提携することが出來得るのであるといふのであつて最近この觀點から則ち爲替管理實質による日本資本逃避の間道ともいふべき滿洲國の資本逃避の途を堰止めるとの觀點から滿洲國の爲替管理法實施要望の聲が再燃しつゝある（完）

全滿全支間

有線電報取扱

滿洲國と支那との電報は從來ハルビン無線を通じ支那側無線との間に取扱はれてゐたが二月五日山海關にて接續せられたる有線にて全滿、全支間に電報の發受が出來る樣になつた、尙料金は當分從來通りである

奉天ナショナル シチー、バンク 五月一杯で閉鎖

【奉天國通】最近在奉天外國商は邦商の急激なる進出に伴ひ凋落の一途を辿り本國に引揚げるもの或は他に轉居するもの續出し同時に在奉外國銀行も營業不振に陷り中には事變前より奉天銀行界の王座を占めてゐたナショナルシチーバンクの如きは最近に至り極度の動搖を來し或は閉鎖の己む無きに至るのではないかと注目されてゐたが遂に同銀行支店長ビドル氏は五月三十一日限り同銀行を閉鎖する旨內示するに至り當地財界に多大のセンセーションを捲き起してゐる、米國第二位の大資本を有する同銀行の支店が閉鎖するに至つたに就ては種々取沙汰されてゐるが營業不振は單なる表面的な理由でそれ以外に何等かの政策的意味が秘められてゐるのではないかと觀測されてゐる、何れにせよ同銀行の閉鎖は躍進途上にある奉天の財界に渺からぬ影響を與へるものとして各方面の注目を惹いてゐる、尙大連、ハルビンに在る同銀行支店は從來通り存續する方針である

日本の對中南米貿易

【東京國通】駐日チリー國モント代理公使は十五日來栖通商局長を訪問、チリー硝石買付に關し日本政府の善處を要求した即ち昨年の日本チリー貿易尻を見れば日本はチリーに對し七百四十萬圓を輸出し居るが、チリーよりは三百四十三萬圓を買入れたに過ぎぬとてチリー政府が兩國の通商條約を廢棄したのは一には貿易關係を調整し求償主義の新しき基礎の上に立つて兩國貿易關係を規定せんとしたるに外ならずとチリー政府の滿日貿易策を詳細に說明日本政府の對策樹立を要求しチリーの唯一特產物硝石の大量買付を要求した尙獨りチリーのみならず昨年度に於ける日本の對中南米貿易は日本の一億四百萬圓輸出に對し輸入は僅かに千四百萬圓の徹底的輸出超過であり、求償主義貿易の本家本元中南米諸國からの求償的要求は將來とも繼續すべく日本政府當局では單なる輸出貿易を謳歌する舊式貿易振興策を捨てて輸入を考慮しての輸出を圖るべき重大なる貿易政策の轉換機に直面對策考究中である

統計處

分科規程改正

法制局統計處分科規程は今次左の如く改正され統計資料に關する中央統制機關としての本格的活動を開始した新分科規程左の如し

統計處分科規程

茲に統計處分科規程を左の如く規定す

第一條　統計處に左の各科を置く
總務科　統計科　調査科　製表科

第二條　總務科は左の事務を掌る
一、官印の管守に關する事項
一、人事及機密に關する事項
一、會計及用度に關する事項
一、文書の查閱收發編纂及保存に關する事項
一、政府公報其他公示に關する事項
一、印刷物の刊行に關する事項
一、圖書の備付及管理に關する事項
一、他科の主管に屬せざる事項

第三條　統計科は左の事務を掌る
一、各官署統計の統一に關する事項
一、各種統計の審査攻究及編纂に關する事項
一、各官署統計主任者の招集及會議に關する事項
一、統計職員の養成に關する事項
一、內外統計機關との連絡に關する事項
一、統計思想の普及宣傳に關する事項

第四條　調査科は左の事務を掌る
一、國勢の基本に關する統計調査の企劃及施行に關する事項

第五條　製表科は左の事務を掌る
一、處の施行する各種統計調査結果の原表調査に關する事項
一、前號の統計調査結果の材料保管に關する事項
一、その他各種統計表の調製に關する事項

海外經濟

倫敦銀塊	二四片一六分一五
同先限	二三片[illegible]
紐育銀塊	五四仙四分三
孟買銀塊	六二留比一六分一
米英爲替	四弗八〇仙八分三
米日爲替	二九弗四六仙
米支爲替	三六弗八〇仙
スチール株	三五弗八分七
アナゴンダ株	一〇弗八分三

▲米穀
現物　三月限　五月限　七月限　十月限　十二月限　[illegible]

▲上海日本向
第一回　[illegible]

▲上海倫敦向
第一回　[illegible]

▲上海紐育向
第一回　[illegible]

▲阪神日米
[illegible]

各地市場

▲大阪株式
大株新　大新　鐘新
[illegible]

▲同短期
大新　鐘新　東新　日電
[illegible]

▲大連株式
五品　先限
[illegible]

▲仁川期米
當限　中限　先限
[illegible]

新京日日新聞
朝刊
夕朝刊共十二頁
本紙 一部五錢 一ヶ月一圓
廣告料金 普通一行 一圓三十錢 特別 二圓五十錢
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

滿鐵英貨債償還と北鐵買收支拂資金

既に研究濟みで心配なし

赤字委員會で藏相答辯

【東京國通】明年一月償還期限到來の滿鐵英貨債の償還方法及び北鐵買收に伴ふ支拂資金問題に就き高橋藏相は十八日の赤字公債委員會に於ける松村謙三氏の質問に對し左の如く答へた

此の問題に就ては既に研究濟みだ、何等心配はない、國際貸借及び爲替問題に就ては一々云ふべき筋ではないが充分研究もし對策も樹てゝゐる、具體的な研究は今後も無論する考へである

利得税收入は赤字にふり向く

＝藏相の答辯注目＝

【東京國通】十八日の赤字公債委員會に於て高橋藏相は臨時利得税收入の使途に就き松村光三氏（政）の質問ありたるに對し

今のところ何も考へて居ないが、我國の財政は赤字だから自然增收の生じた場合は之を赤字公債の減額に充てねばならぬ

と言明し災害費に充つべしとの政友會主張を暗に一蹴するが如き態度を見せたのは注目されて居る

陸軍記念日に 閑院宮 御放送

第三十回陸軍記念日は全日本を擧げて盛んな記念祭が行はれるがこの日閑院參謀總長宮殿下には靖國神社の式場より日滿兩國民に對し記念放送を行はせらるゝこととなつた

入超增加傾向質問に對する 藏相の答辯

【東京國通】十八日の衆議院赤字公債委員會にて高橋藏相は松村光三氏（政友）が入超增が增加する傾向がある當局の見透し如何と質したのに對し左の如く答辯した

將來のことは大藏大臣と雖も云ふ事は出來ない、然し正金銀行の如き貿易に關係の深い當局首腦者の話を聞くと今年の貿易に於ては入超は入超であらうが爲替相場の上に大して影響を及ぼす事は無いと見てゐる、現在は輸入期であるが後にそろそろ輸出爲替が出るやうな狀態になつてゐる、軍需工業原料が入るから入超が多いと言はれるが之が嫌なら軍需費を減らす外は無いと思ふ

更に青木理財局長は松村氏の「昭和九年度の國際貸借の大局觀如何」との質問に對し昨年の貿易は入超一億四千三百萬圓であつて貿易外收支に就ては目下材料蒐集中であるから數字を示し得ないが、大体貿易上の入超を貿易外の受取勘定で相殺し得ると見てゐると答へた

貴院政府追及

愈々本格的となる

【東京國通】貴族院は本十八日より會議と豫算委員會を續開して政府施政の本格的追及を爲すが、興味の中心は豫算委員會に移り、その論戰白熱化するものと觀られて居るが目下のところ深尾隆太郎男（公）、內田重成氏（交）の質問を終り今後尚公正會の小畑大太郎男（公）は豫算編成方針豫算查定方法を、交友俱樂部の芳澤謙吉氏は外交問題を、同成會の塚本淸治氏は內務行政を、公正會の淺田良逸男は陸軍豫算と航空防空政策問題を、交友俱樂部の鵜澤總明氏は人權蹂躪問題を、公正會の大藏公望男は鐵道拓務行政を、公正會の稻田昌植男は農業政策を、研究會の絲原武太郎氏は地方行政、農村行政を、內田重成氏は產業政策を、公正會の井田磐楠男は思想教育を、研究會の渡邊千多子は政治教育を質問し、尚質問者續出で果して豫算維持本員會の期間中に終るか否か疑問とされてゐる、尚今議會の特徵として之等の質問題目が皆眞劍に政策問題に重點を置き、抽象的場當り的の政治論が漸く影を潜めて國民生活の安定を期せんとしてゐる事である

"癌"爆彈動議と

依然腐心する政府の對處策

【東京國通】政友會は豫算通過と爆彈動議の後處置とを別個の問題とし、地方交付金制度其他救農政策に對する政府の方針を檢討の上最後的決戰を行はんとの方針なので爆彈動議問題は最後まで本議會の癌で政府は飽迄愼重な態度で臨んでゐるが、左の見解で無事論切りを期してゐる

一、臨時利得税三千萬圓は衆議院を通過せる十年度總豫算の一部をなす故目的税へ振替へんとするは容認し得ない

一、地方交付金制度は內閣審議會で考究すべきものである

一、交付金制度實施迄の繫ぎとしては內閣調查局を中心として各省間で低資融通其他により方策を講ずるが本議會中に其詳細に亙つて述べる事は難し難い

一、內閣審議會は政友會も今更反對無しと觀、目的內容を懇切に說明する

政友會黨內大體の意向は臨時利得税否決又は審議未了論もあるが大勢は目的税に修正し之を地方財政交付金に充當せしめんとの意向有力である、之は堀切、大口、太田諸氏の支持を得てゐるが、前田、中島氏等の白軍派は政治的影響を考慮して反對してゐるので黨議決定までには一波瀾あらう

皇帝御訪日

御警衛協議會開催

來る四月の侯滿洲國皇帝陛下の御訪日を控へ十八日午後一時から關東軍司令部において關東軍各課より各一名、滿洲國警務廳等より各代表參集して御渡日に關する供奉員、隨員その他御警衛に關する協議會を開いた

政府追擊に關する

【東京國通】政友黨內大勢は政府追擊に關し

一、地方財政交付金は國同と共同提案の交涉中だが妥協出來ねば單獨でも出す

一、綱紀問題は床次遞相の五十萬元事件、後藤內相の簿誤導事件等準雲、小林氏等より本會議で緊急質問で追及の豫定だが黨內には反對論もある

一、米管理案は都市、農村兩派議員間に對立激化し結局は修正附で通過の意向である

集團部落結成

第二次建設計畫成案

義に中央政府に於て決定せる集團部落結成方針に基き間島省政府では地方治安維持委員會と連絡を採り、第一次建設に引續き第二次建設計畫樹立に努力を注いで居たが最近民政部に對し成案を具して右決裁方申請して來た、案の內容左の如し

一、第二次建設計畫の對照となるべき縣並に集團部落數

縣	部落	戶	名
延吉縣	八ヶ部落	八五〇戶	二、四〇〇名
琿春縣	八ヶ部落	八五〇戶	一、六〇〇名
和龍縣	七ヶ部落	九〇〇戶	一五、五〇〇名
汪淸縣	六ヶ部落	六〇〇戶	一四、〇〇〇名
合計	二九ヶ部落	三、二〇〇戶	七〇、〇〇〇名

一、中銀より二十二萬四千圓を借入れ資金として各部落一戶當り家屋建築費五十圓同農耕費二十圓を貸付け農民の生計の基礎を作る

一、中央政府より補助七萬圓を得て一部落に對し千圓乃至二千五百圓を投じ警備教育其他に必要なる公共施設を行はしむ

尙以上の他鮮農救濟に關し朝鮮總督府案の五部落建設が近く具体化する筈である

長岡總長北滿へ

警務部長以下帶同

初度巡視を兼ね駐屯軍慰問

長岡關東局總長は岩佐警務部長、鈴木警備課長、推葉秘書官、飽田理事官を隨伴し、北滿各地駐屯の各部隊、特務機關、衛戍病院、防備隊、各公署その他重要各所の初度巡視を兼ねて來る二十二日午前九時二十分新京發ハルビン、滿洲里、チ、ハル等北滿慰問旅行の途に上り二十七日午後二時歸京の豫定である、なほ一旦歸京した長岡總長は休養の寸暇もなく再び三日二日出發東滿各地の慰問旅行に赴き同四日午後三時龍井を最後に新京に歸着の豫定である

經濟提携說擡頭の折柄

國貨服用會の動靜注目さる

【南京國通】國民黨部政府諒解の下に南京各區市民國貨服用會なるものが去る十五日當地に成立し十五人を以て一隊とする宣傳、勸誘、檢查の數班を組織し活動を開始した、同會の目標が日貨排斥にあるや否やは此際數日の活動振りに徵し見ることを必要とするが、果して巧妙なる日貨排斥の一手段たる場合には之に依つて過般來蔣介石氏の名の下に發表された親日意見が全然彼等の眞意に非ざることを證することになるので同會の動靜は注目されてゐる

"經濟提携"は第二

先づ政治的解決を

神戶着の王寵惠氏は語る

【神戶國通】國民政府歐米派遣の互頭國際司法裁判所判事王寵惠氏は日支國交調整の具体策に關し日本朝野の要人と隔意なき意見の交換を行ふべく十八日午前九時半メラー汽船プレシデント、ピアース號でヘーグ赴任の途次神戶に寄港正午在留中國人の歡迎宴に臨んだ、同氏は午後四時發東海道線列車で橫濱に向ひ前後二週間日本滯在の豫定である、同氏は記者に次の如く語つた

今次の訪日は全く個人の資格であつて

日支 提携の具体案とか云ふべきものは何も持つて來てはゐない然しながら國民政府が提携に關する萬全の用意を有することは事實である、たゞその方法に關しては難關を打破すべく愼重研究する必要がある從つて私は前後約二週間に亙る今回の訪日に依つて日本の政策、殊に軍部並に外務關係の眞意を適確に聽取して兩國親善の具体案を發見したいと考へてゐるが日支提携は傳へられる如く必ずしも經濟を先にする要を認めない、先づ政治的解決に依つて經濟的問題に及ぼすのが當然だと考へる

支那實業視察團派遣に關しても同樣のことが言ひ得るまた支那の農業殊に棉花栽培の技術的な援助をされるとか上海に二億程度のクレヂットを設置するとかの案に就いては私はその內容を詳らかにしないが相當研究を要し殊にその內面的條件を互惠的に決定することが緊急の事である

然し 國民政府の特使を日本に派遣するとの事は何等耳に入れて居ない、またその邊まで實情が進展して居るものとは思はれなく更に角私の現在の心境は白紙で何等公表すべきものは持つて居ない

國交改善の確信

歸國途上の王寵惠氏聲明

【東京國通】歸國途上の王寵惠氏は船中に於て我が新聞界へ左の聲明をなした

日支間にある根本的誤解を一掃のため余は貴國民が具体的友好態度を示されんことを希望する、兩國民相互の諒解により日支國交を改善し得るを余は確信する

根本原則を先議 具体案は後廻し

わが海軍當局の對軍縮態度

【東京國通】海軍省では山本代表の報告を基礎とし軍縮豫備委員會に近く具體案を準備せしめるが、過般の豫備會商にて英米兩國は日本のパリテイ要求の根本原則を承認せず具體案討議を主張し、山本代表は根本原則を先議し具體案の後廻しを主張したが近く開催の準備委員會でも海軍としてはこの態度を依然堅持の方針である

日支貿易調整に 張嘉鑄氏渡日

【東京國通】中國銀行總裁張公權氏の令弟張嘉鑄氏は日支貿易調整の使命を帶びて十六日長崎に上陸、大村の三井關係事業の視察をしたが更に朝鮮各地から日本各都市を視察する筈である

孔財政部長演說

【上海國通】財政部當局の要請に基く金融顧問委員會は十六日財政部長孔祥熙氏邸で正式成立式を擧行した、席上孔祥熙氏は目前の金融危機は國家の各種經濟建設計畫の重大な障碍となつて居り、それと同時に國內貿易を極めて不利なものとしてゐる併し之が對策として極端な方策を採用し、內外の信用を動搖せしめる事は愼しむべきで中國の貨幣と金融組織を充分諒解し漸進的の改善によつて此の窮地を打開すべきであるとの意味の演說を試み傳へられるが如き貨幣統一、平價切下げ等の急激な實現が齎らす危險を戒めた

桑原明氏 ビユウロー主任會議より歸任

去る十三日から十六日まで大連で開催されたジヤパンツーリストビユーロー主任會議に出席中であつた新京案內所主任桑原明氏は十七日午後五時三十分着あじあで歸京したが語る

今度の會議で最も嬉しかつたのは自分がかねて唱へてゐたビユーロー新入社員の豫備教育を滿鐵側に委任することに決定したことである新京なら新入社員を新京驛に委任して大体三ヶ月間位旅客案內、小荷物、稅關關係について教育して旅行者の案內統一化を計る譯であるなほ同會議の協議事項は

一、主要都市における旅行クラブの組織に關する件

一、新入社員の教育（集合教育分駐教育委連教育）に關する件

三、新入社員の支部採用と、現地採用の可否

の三件であつた

土門子の砂金鑛に 採金會社乘出す

ゴールドラツシュの波に乘つて最近滿洲各地に有望な金鑛地帶發見の吉報が續々齎らされてゐるが、滿洲採金株式會社では昨夏より調查中であつた間島琿春河の上流土門子砂金鑛が數千萬圓の埋藏量を有する滿洲一の有望地帶なるを認め、本年一月之を買收、近く解氷と同時に本格的作業を開始する事に決定した

同地は從來滿人、鮮人約三千（家族共）が入込み原始的採掘を行ひその年產百萬圓を下らぬと言はれ從つて密輸密賣が盛んで金の統制が行はれず當局は金額が大きい丈けに之が取締りに腐心してゐたものであるが、採金會社の進出は金の濫掘を防ぎ、且つ國外流出を皆無ならしむる上に於て一石二鳥の效果があると各方面より期待されてゐる、尙同社では本金鑛に最も進步せる採金技術を適用するため琿春河の上流にダムを築きこの水利を採金に應用すべく目下計畫中である

蔣介石氏の日支經濟問題主張

新聞報所報中央委員談

【上海國通】蔣介石氏と日本記者との問答に關し今日の新聞報は某中央委員の談として左の記事を揭げた

蔣氏が日本記者に對して行つた日支經濟問題の主張は多數の中央委員の意見を代表したものと言へる、元來外資を利用して富源を開發することは孫文の遺著で既に言はれて居り中央政府會議でもこれに關して官營、合資、特許の三原則を規定して居る故、外資はもとより歡迎するところだが兩國經濟合作には必ず左の二條件を先決條件とする

一、兩國人民は須く厚き友誼に基く政治干涉を持つこと

二、合作條件は完全に互利互權を以て政治作用を附隨せざること

故に日本が侵略の主張を拋棄し非法によつて占領せる支那の土地を返還し以て支那人民の對日反感を消滅したなら支那側は互惠協同の經濟合作辦法の道を講ずることを歡迎するが然らずんばこれは徒らに空言で實際に何等の意義もない

滯平中の磯谷少將赴滿

【北平國通】來平中の磯谷少將は楠本中佐を帶同午前八時四十五分發列車で滿洲方面に向つた

偶語

公會堂の映畫直營プラン、本社の豫想記事がみごと的中して遂にオデヤン、理事者側にはお氣の毒だがこれも止むを得まい▼そも〳〵かゝる愚案を考へ出すの本・近頃陽氣加減とは申せどうも吾等に取つて腑に落ちない、しかもこう〳〵たる非難を押切つて飽くまで頑張り通さうといふのだから底が知れない▼このプランの起案者はいふまでもなく豐記長の眞殿君でそれに地事副所長の神崎君が花形役者として出場に及んだものだ、どちらもまだ新京は大して永くはなく新京の事情にうといせいとお察しする▼それにしてももつと〳〵大膽なのは御大の武田地事所長さんである、案は撤回されるか保留されるか、いづれにしても運命を氣づかはれるといふ本紙の記事を讀んでかどうかは知らないが▼あの日記者の質問に答へて「自分の聞く範圍では反對者など一名もない」と斷然言ひ放つたものだ反對がなければ理事會としてなんの波瀾もなしに通過したはずなんだがさて結果は一体どうだつたかと更めてお伺ひしたい▼これが吾々市民の總意を汲んで附屬地行政をあづかる「吾等の市長さん」の言とはどうしても思はれない、公平な理事會があつたからよかつたものゝ、理事會がなかつたら一体どうなつたであらう▼今後もあることだ、盲滅法にそう〳〵簡單に吾等市民の總意を無視されてはたまらない

人事往來

▲岡本中佐（ハルビン碇泊司令官）十八日午後東京帝國旅館投宿
▲上山草人氏（俳優）十八日午後九時着愛國旅館投宿
▲梶山盛衞氏（吉林專賣署）十七日午後東京名古屋ホテル投宿
▲內田直七氏（大連會社員）同
▲堀田嘉七氏（大阪丸三組員）同
▲北山折一氏（滿鐵囑託）同
▲佐々木政吉氏（淸律師人）同
▲稻田祐直氏（滿洲法政學院講師）同
▲橋都氏（新京春會社員）同
▲杉野耕三郎氏（大連辯護士）同
▲久米成夫氏（奉天省總務廳長）同
▲德野少將（飛行隊司令官）十八日午前發公主嶺へ
▲佐藤覺一氏（航空兵大佐）同

社説

英國資本と滿洲國

經濟使節團の視察報告書

英國の日本に對する立場は矛盾した二つの面をもつてゐるすなはち一方においては、ソヴエート聯邦並びにアメリカ合衆國に對して日英兩國は外交上に協力することが必要とされるのであるが、他方においては、支那において日英の資本が相爭ひまたオーストラリア及び印度、蘭領印度における利益が日本によつて脅かされてゐるのである、かくてソ聯とアメリカとが國交を回復すれば、英國は日本に對しこより一層の親愛を示さざるを得ないが、その反面にはシンガポール＝ポートダーウイン間の防禦線完成に力を盡してゐるのである、そしてこの南方アジアにおける兩國の立場においてもまた矛盾は存してゐる、すなはち日本の工業に對して英帝國の領域は緊張した防禦を必要としつゝ、その日本が印度の棉花を買つてくれ、またオーストラリアの羊毛を買つてくれるのである

◇

ところで、資本はつねに利益の得らるべき所を求めて動く殊に現在の世界的不況のなかにあつて、少しでもの働き場所が、換言すれば利益獲得の可能な地點があるならば、國境をも感情をも無視して資本はそれ自身の性向に從つていちはやく觸手をそこに伸ばすのだ、英國産業聯盟の使節團はこの故にこそ日本と滿洲國とに派遣された、そして最近公表されたその使節團の報告書を讀むとき、彼らは彼らの使命を恐らく最も適度にやりとげてゐることをわれわれは見出すことができる、この北方アジアに送られた英國資本の使節たちは　それならばこの國に來、この地方を觀察した結果、何を持ち歸り、いかに報告するところがあつたかわれわれはそれを檢討したい

◇

報告書は率直に言つてゐる

吾々はあらゆる觀點から見て、兩國の友好を促進することの望ましいことを考へ且又英國の權益に取り重要なる極東の經濟的繁榮は日英兩國互に諒解する所無くしては容易に達成し得ないものであると考へる

但し彼らとても、自らの利害の歸する點においては極めて敏感また强硬ならざるを得ない、たとへば滿洲國における石油問題に關しては次のやうに主張してゐる

我々の言はんとする所は、今日滿洲國に於て石油會社が當面してゐる困難である恰度我々が滿洲國滯在中、この問題が英國政府より提出された抗議の主題となり今に至るも解決されてゐない……商業上の立場から我々は滿洲國に多額の資本を投し、該の國の開發に貢獻した英國資本獲得者が彼等に不利なる取扱を受けるならば、それは英國のみならず他の諸外國の資本が將來此の地方に事業を興すことを阻止することに成るであらう

◇

滿洲國への彼らの展望如何

一個の近代的國家は今正に創造の過程にある、前途なは諸々の障害橫はると雖も我々の信ずるところ、是等の難關は突破せられ、やがては經濟的繁榮を招來して滿洲國を利し且つ又他國の通商にひ益するに至るであらう

右の一節が彼らの結論を端的に表示してゐる、が、一層緊密に自らの使命に關連して次のやうな視角をも見出してゐるところにわれらは注意すべきであらう、すなはち

滿洲國の經濟的發展は、近代的國家に改造するに必須なる事業を中心として發展して居る……これに要する投下資本は莫大である……將來に於ては滿洲國財政に莫大なる負擔が掛かる……引續き日本よりの後援なくしては、此の負擔は如何ともし難き事であらう

◇

要するに、彼らは「英國の産業家が進んで着手し得るやうな實業上の見込が存すること英國産業に取つて活動の機會が存すること」を確認と見出すことによつて、使節團としての使命を果したのである、矛盾した立場を持ちつゝも自己保存、自身の延命のために英國資本家の使節たちは與へられた役割を遂行したのだ、この觀察報告書を曾つてのリツトン報告書と比較する時、われわれは滿洲國の發展が彼らの見解を大いに進展せしめたことを知るとともに、危機の斷崖に立つ英國資本がやむを得ずして、必要に迫られて北方アジアにまでさしのばす觸手の動きを感じ取ることができる

アメリカ魂にも惱みがある

米國外交の展望（上）

大統領、輿論、諸問題

一個の怪物世界を横行す―これが米國だ、正義も說くが型破りの横暴も敢へてする、文明の絕頂に達ししかも野蠻だ、その米國も近年は不景氣といふ內出血の手當に大童べだつたが稍小康を得て眼を外に向けたやうだ、以下はワシントン通信に材を得て米國外交の背後にあるものを抉摘したもの、太平洋の彼方に蹈る彼女の吐息と體臭とを讀み取られたい（一記者）

◇

一九三六年を迎へて米國に於いては官民ともに國內の問題よりも外交政策の問題に以前にまさる注意を拂つてゐるやうに見える、海軍軍縮會議の難局、極東に於ける、またラテンアメリカに於ける難しい情勢（ラテンアメリカに於ける喧嘩よりもアメリカ人にとつて一層身近い感じがする）、米國の提唱する軍縮案の普遍化、國際裁判所、進んでは國際聯盟への加入等、これらは何れも當面の問題なのだ

◇

外交政策の問題に於いては、大統領の個性が大きな役割を演ずる、大統領が國際間の問題に注意を拂つた最近二個年に在つて、散々彼の干渉は强力且つ直截であつた、國務省よりも白亞館の方がワシントンに於ける外務省らしい、ソヴエート、ロシア承認をもたらしたものは大統領の個人的勢力であつた、リトヴイノフとの交渉の全部は彼の手中に在つた、倫敦に於いて米國の態度を決したのも代表こそ送つて居れ、大統領自身がそれをなしたのであつた、週狀を列國元首に送つて諸國を一種の軍縮協定に誘つたのも大統領であつた、戰債の問題に自身手を突込んだのも大統領であつた、英國の大使は戰債の處置に關して財政省をも國務省をも訪はず白亞館を訪れたのであつた、そしていま始められたところの國際貿易の問題の鍵を握つてゐるのも大統領である

◇

外交問題について大統領が一つの確然たる嚮向を持つてゐることは明瞭である、殆んどすべての國の外交的代表者たちがいまやワシントンへの巡禮詣でをやつてゐる、これは大統領の姿が今や米國の國境を越えて展望されてゐる證據であり、そして世界の眼に映る米國の變化以上に、米國に對する世界の見解が變化したことを示すものである、何かをなすに米國を無視することは出來なくなつた

◇

以前大統領は國內の問題に忙殺され、漸く世界經濟會議に送られたメツセージによつて米國の態度を知り得たのであつた、そのメツセージは倫敦に於ける政治家達を失望せしめたにしても、米國は國內の問題に忙しいことを表示しこれを理解せしめた點に於いて些か貢獻する所はあつたのである、そして今や大統領の机上には國內問題に關する書類は少くなり、大統領はなほ外交問題に興味を持つてゐる、だが事態は一層惡い方に變化し來つてゐる、何故かなら外交問題に興味を持つ一般米國人がその見解に於いてより偏狹になつて來て居るからだ

◇

これに就いては二つの主な理由がある、その一つはアメリカ道德の再建といふ復興計畫に肝要だつたものが國家的精神を喚起したことである、米國の成就せるもの並にその將來に對する誇りは不可避的に外國人に對する矜恃を形成した、米國人には歐洲人の敵視、日本人の自主的行動、英國人の謙讓すべてが增大したやうに見えるのだ、若し諸國民に就いて米國の好まぬ風の表を作るならば、第一には日本が來やうしその次に獨逸であらう、そして二三年前までは眞[illegible]た唯一の國で[illegible]が今では三番目[illegible]それに續いては佛國[illegible]伊國そしてスカンヂナヴイアの諸國といふ順序であらう、スカンヂナヴイアはクロイゲルやトルを生んでゐるが又グレタ、ガルボを生んでゐる

◇

外國で生れた米國人の勢力も考へに入れねばならない、愛蘭生れは愛蘭自由國の成立まででは米英の友交に絕えず刺とはなつてゐた、ヒツトラー体制以前の獨逸語を話す米國人は團結して一勢力を成してゐたし、英國生れの米人は常に本國を懷しがつてゐるのだ、英國と伊太利と何れが人氣があるかを斷ずるのは困難だ、ロシアがブラツクリストの一番目から落ちたのは、より好まれるやうになつたからでは無く外の國がより好まれなくなつたからである

滿洲國々防婦女會

建國記念日に大々的街頭運動

基金募集に[illegible]

滿洲國々防婦女會では來る三月一日帝制實施一週年の建國記念日を期し全會員三百名を總動員して街頭で五色旗の記念マークを一般市民に販賣し社會事業基金に當てるほか全會員は晝の旗行列と夜の提灯行列に參加、城內新京戲院では記念講演會を開催して大々的に街頭運動に乘り出すことゝなつた

防空協會 記念放送

滿洲防空協會本部では來る三月十六日が同[illegible]日に當るので當日[illegible]について種々準備中であるが遠藤理事長の記念放送、記念飛行等を催し一般に防空に對する認識を深める筈である

オリムピツク東京案

衆議院各派 建議案提出

【東京國通】衆議院各派は十六日共同で一九四〇年オリムピツク大會開催建議案を提出し、その實現を期することゝなつた

米オリムピツク協會長ブ氏 東京案支持

【シカゴ十五日發國通】一九四〇年のオリムピツク大會開催地を繞り東京、ローマ、ヘルシンキ等の各地對立の狀態となつたが、米國委員會では日伊兩國代表間の折衝經緯に鑑し東京案支持に傾いてゐるものと見られる、即ち米國オリムピツク協會々長ブランデーヂ氏は米國スポーツ界の意向を端的に表明し左の如く述べた

米國スポーツ界は一九四〇年オリムピツク大會を東京で開催しやうとする日本体育協會の要求を支持するものと確認する、東京案が實現しスポーツを通しての日米兩國間の親善が促進されるのは全米國スポーツマンの齊しく待望するところだ一九三二年のロサンゼルス大會に於て百三十四人の日本選手が參加してくれたが一九四〇年大會に米國選手團が大擧東京に乘込み日本の好意に[illegible]ことが出來れば[illegible]た喜びはない

ドイツスポーツ界[illegible]

【ベルリン[illegible]國通】當地スポ[illegible]は日本は一九四〇[illegible]オリムピツク大會開催地たる資格を備へてゐると東京開催歡迎の意向を有つて居り、ドイツ[illegible]委員カール博士は第十二回オリムピツク大會を日本が開催したら必ず大成功をすると確信すると語つた

フインランド公使を口說く

【東京國通】東京市ではオリムピツク問題で昨夕强敵フインランドロ說き落しに牛塚市長、森市會議長、辰野委員長がベルベンネフインランド公使を訪問し、東京開催の希望を述べ、オスロー會議では特別の援護を乞ふ旨懇請したが公使は快く御趣旨を直ぐ本國に打電すると答へた

讀者の聲

（中傷はとらず　氏名住所明記の事）

新京高女体育科へ一言希望

市內一スケートファン　K　K　生

「都市對抗氷滑大會の女子種目を語る」新京高女堺田氏の記事を見まして血湧き肉躍る感があると言ふのは大いに同感です

この大會に於て新京高女スピード選手も出るものと私自身も一般市民のスケートファンも大いに期待してゐましたが出ないとの事で不審に思つてゐる次第です新京高女生の中にも奉天の瀧讓安東の壹岐孃にも劣らぬ選手が居る事と思ひます、聞けば學校に於てはフイギアーを獎勵してゐられるそうだが之も結構な事と思ひますが調べて見るとスピードをやれば點數に關係するとの事、之が爲生徒間には點數といふ事に恐怖を來し、小學校時代選手をしてゐてこの上練習すれば大いに發展の余地ある者までがスピードをやめてしまふ、又現小學校スピード選手も女學校へ行けばスピードが出來ぬと悲觀してゐるようです、体育協會でフイギアー獎勵に決つたとは聞へ奉天高女、その他高女では盛にスピードもやつてゐるようですが新京高女だけがスピードをやめフイギアーばかり獎勵してゐるのは矛盾してゐるように思はれます、猶又スケートリンクも氷の關係上奉天よりは人口、氣候の影響で將來は新京が中心になるように思はれます

そこで新京の爲にもスピードの方も大いに獎勵されんに事を希望する次第です

各方面首腦部會合

時局問題懇談

軍、大使館、滿洲國、滿鐵

關東軍、大使館、滿洲國三者間の意志疏通、諸關係の圓滑を計るため首腦者の懇談會は毎週行はれてゐるが、十八日午後一時半から入田滿鐵副總裁、河本、佐々木、河西、郡山各理事の入京を機として關東軍司令部に於て西尾參謀長板垣同副長、長岡關東局總長遠藤總務廳長、大村交通監督部長らの首腦者が參集して種々時局問題に關する懇談會を開催した、問題は極秘に附されてゐるが仄聞するに北鐵接收後の對策に關するものとみられてゐる、なほ時局柄滿鐵改組問題にも及ぶのではないかともみられてゐる

張家灣に於ける 建國記念日

北鐵南部線張家灣居住日滿人は來る三月一日の滿洲國建國三週年記念日に同地守備隊步兵第十三團本部が中心となり日滿聯合射擊大會を開催に決し步兵十三團長王上校を委員長に推擧、同團福里中尉が事務準備に當つてゐる既に參加の決定したものは滿洲側步兵十三團十名、第四區警察署十名、特別區公署五名、地方側十名、日本側憲兵隊三名、領事館四名、在鄉軍人會五名等に上り當日の盛況が豫想される、因に優勝者は團体個人ともに賞品が授與される

在新京各社幹部 五日會生る

新京に在る新聞社、通信社ならびに各支社支局幹部の懇親連絡および時事問題研究などのため、十五日午後三時からヤマトホテル談話室で初會合を催し、引きつゞき毎月一二回五の日に會合する申合せが出來、集會の名を五日會と決めた、因に會員は左の通り

▲滿洲國通信社主幹里見甫、編輯部長大矢信彥、通信部長佐々木健兒▲大新京日報社社長中尾龍夫、編輯總務三浦義雄▲滿洲日報社新京支社長佐藤武雄▲大連新聞社新京支社高橋勝藏▲大阪朝日新聞社滿洲總局長吉田諄、同新京支局長知識眞治▲大阪每日新聞社滿洲總局長檜崎觀一、同新京支局長櫻井重義▲報知新聞社新京支局長中西眞▲大阪時事新報社新京支局長中谷壽治▲日本電報通信社新京支局長藤井祥正▲新聞聯合社新京支局長小野敏夫▲新京日日新聞社總務十河榮忠、編輯局長松本勇

まだ支那の誠意は認められない

上海で土肥原少將語る

【上海十七日發國通】上海に到着せる土肥原奉天特務機關長は往訪の記者に對し「私の今回の上海訪問は政治的の使命を有するものではない」と冒頭して次の如く語つた

日支關係が逐次好轉してゐるやうに自分が青島で新聞記者に語つたと傳へられて居るがそんな事を言つた事はない、一般支那國民は漸次日本の眞意を諒解し日本との提携を希望してゐる實狀は認めるが、然し南京政府及國民黨部が從來實施し來つた排日諸政策を全般的に是正せんとする誠意は未だ認める事を得ないのみか蔣介石氏の聲明の舌の根の乾かぬ中から南京各區々民服用國貨會を設けて排日貨に精進せんとしたり排日放送をやつたり漢口の新聞が排日言論を掲げる等却つて逆轉の形跡なしとしない

そもそも排日排日貨及び排日教育等は帝國に對する消極的戰爭行爲でこれを是正しない限り日支提携の如き夢想だにも思はぬ事である

尙同少將は一週間當地に滯在するが十八日は實ブ氏と會見し更に各支那要人と隔意なき意見の交換を行つた上南京に赴き汪精衞氏その他要人と會談する豫定

日露役參戰生存者は速に長勇會へ

滿三十周年記念を迎へた日露戰役記念日の三月十日に關東軍司令官南大將は日露戰役從軍者の生存者で組織されてゐる長勇會々員を招待しつぶさに當時を懷古すべく座談會を催すこととなつた、その他長勇會では古戰場巡り、小演習等々陸軍記念日には種々催物を寄々協議中で日露の役に從軍關係者で生存者中新來者は速かに長勇會事務所（吉野町一丁目五番地電話三七二八番）に入會を申込み爾後連絡されたいと

長勇會で日露戰蹟を訪ね英靈を慰む

日露戰役に從軍して生き殘つた新京居住者をもつて組織してゐる長勇會々員中希望者は來月十日日露戰役滿三十周年記念に相當する陸軍記念日に旅順、大連、奉天における古戰場を歷訪しいまはなき幾多戰友の英靈を慰めるべく計劃してゐる

淺山氏 京都市長に當選

【京都國通】十七日の市會で選擧の結果淺山富之助氏が五十八票中卅四票で市長に當選した

清朝宮廷及政治諸制度考　祭休載

南満

四平街陸軍記念日 諸行事計畫案内容

【四平街支局發】來る二月十日第三十回陸軍記念日を迎へ時局柄記念日の意義を深らしむるため過般來各官廳に於て行事計畫案を錬つてゐたが當地獨立守備隊案が脱稿したるにより是を骨子として二月十八日午後一時より地方事務所會議室に於て打合會を開催協議決定する豫定である

守備隊提出陸軍記念日行事案

自午前九時至午前十時三十分

一、陣地攻防

一、分列

場所 四平街南側地區

參加部隊 守備隊、在鄉軍人、警察、青年訓練所、少年團

主催 守備隊

自午前十一時至正午

一、慰靈祭

場所 忠魂碑

參加 日滿官民

主催 地方事務所

自午後〇時卅分至同四時卅分

日露戰役從軍者招待會

場所 公會堂

主催 日滿官民合同、地方事務所、時局後援會

一般の記念祝典にして本席上に特に從軍者を招待す

自午後二時三十分至同四時

講演

場所 小學校講堂

主催 日滿官民學生、守備隊

自午後六時至同九時

軍隊慰問映畫の夕

場所 四平街劇場

參加 軍隊、警察

主催 地方事務所、國防婦人會

國旗揭揚式

主催 地方事務所

自午後六時至同十時

守備隊に於て準備せる活動寫眞の一般公開の外事局を再認識せしむる小冊子パンフレット、ポスター、繪葉書等散布する予定で陸軍記念日の意義深き行事として一般から期待されて居る

四平街金組 理事交迭

四平街金融組合理事藤森誠氏は關東州内普蘭店金融組合理事に榮轉後任理事には瓦房店理事加藤喜一氏が赴任せらる旨關東局司政部より本日任命された

石井巡査 賊を射殺

【安東國通】十六日午後七時二十分頃安東附屬地南道溝孫殿柱方に一名の滿人拳銃强盗押入り家人を脅迫して金品を强奪せんとしたが急報により逸早く駈けつけた安東署石井已之助巡査は拳銃を擬しつつ賊と渡り合つたが不幸にも左胸部に盲貫銃創を受け勇敢なる同巡査は怯る色も見せず遂に賊をその場に射殺した尙同巡査は直ちに滿鐵病院に擔ぎ込み應急手當を施した結果一命は取止める見込みであるが同巡査の身を挺しての行動は警察官の模範として稱讃されて居る

匪狀偵察中 警官重傷

【奉天國通】奉天西方八里、公太保、油田巡査は十八日午前零時三十分頃古家屯に居住せる鮮人尹某より數十名の匪賊現はれ村落掠奪中との報に接したので、張巡査補帶同急行し匪賊の掠奪行爲を偵察中騎馬匪の爲に左胸部に盲貫銃創を受けた、尙張巡査補も行衞不明となり油田巡査の拳銃も掠奪されたが、油田巡査生死不明との急報が今朝九時四十分當地に達したので奉天署では三浦司法主任、前田保安主任以下三十一名は急遽應援の爲め出動した

歌人畫家文士を招聘 國鐵沿線名所古跡宣傳

【奉天國通】鐵路總局に於てはポスター或はパンフレットなどを發行し、國鐵沿線名所古跡の紹介に大童となつて居るが、今回更にこれを一般に深く印象付けるため、日本より一流の歌人、俳人、畫家及文士を招聘し、これらの人々によつて名所古跡の紹介をなす可く計畫を進めてゐるが、右候補者は歌人齋藤茂吉氏、俳人臼田亞浪氏、畫家武藤夜舟氏、文士谷崎潤一郎氏、佐藤紅綠氏等が擧げられてゐる

李基行氏牡丹江へ

【敦化支局發】城内北大街運送業大陸公司主李基行氏は圖寧線牡丹江に支店開店準備のため十五日午前七時の列車で出發した

敦化萬壽節

【敦化支局發】皇帝萬歲を壽ぐ滿洲國萬壽節拜賀式は十六日午前十一時から敦化縣公署内庭に於て擧行され日滿官民多數參列王總務科長の發聲で皇帝萬歲を三唱正午閉式したなほこの日縣下各學校では同十時から一齊に拜賀式を擧行縣公署から贈られた奉祝月餅をいたゞき散會した

東滿

吉林居留民會 議員選擧迫る 俄然逐鹿戰混亂化か

【吉林支局發】吉林居留民會議員の改選もいよ〳〵二十一日晴れの火蓋が切つて落される十四日までの立候補屆出は吉林實業公司の中島縣氏一人で他は何れも虎視眈々たる中に形勢觀望とある、しかし自圈他圈、潜行運動は早くも開始されてゐる模樣で既に立候補を決意せるもの及び出馬を推定し得るものは左の諸氏である

稻村峰一(舊)、桐井覺太郎(舊)、青山廣藏(舊)、壯川佐助(舊)、岩原榮次郎(新)、盛財務科長(新)、岩間啓次郎(新)、本多嘉則(舊)中島縣(新)、滿洲國側より他に一人花田科長、山下鋭、芝元正二郎三氏の内一人以上十名、而しこの他今村、遠藤、赤池、宮本、木下、七糸川大國氏が日和見的態度を持つて居り其他結局二十名前後の候補者立がある見込で無氣味な空氣を孕んで今年度の逐鹿界も俄然混亂狀態へ急回する至つた

青年團基金募集映畫會

【間島支局發】圖們青年團にては基金募集の爲め十一、十二日の兩日間富地國際劇場に於て活動寫眞大會を催した處各團体及有志の應援もあつて盛會、多大の收穫を修め得たちなみに創立第一着として純益金の一部を以て團旗及團服を調製し各員の志氣を集め今後大いに活動すべく意氣込んで居る

南陽憲兵隊 紀元節に劍道試合

南陽憲兵分駐所では二月十一日紀元節に内田分駐所長を初め所員一同其の他外來有志會合し國境の風吹き荒む中に汗みどろになり劍道試合を開催し非常時軍人として身心の訓練をたし意義深き佳辰の日を芽出度く送つた

忠靈塔合祀者名

▲騎伍長吉田峰雄(岐阜)▲騎上等兵子勝一(愛知)▲騎上鈴木忠三▲八、九、三豐寧第八師團衛生班砲上玉木節美(山形)▲八、九、元灤州兵站支部步曹永井勝夫(北海道)▲熱河省 家子嶺託池上美男(岡山)▲八、一〇、三赤峯朝陽衛戍病院步伍松尾東吉(秋田)▲八、一〇、承德衛戍病院步上佐藤慶太郎▲八、一〇、九熱河省半山步中尉伊藤河四夫▲步少尉國枝國治(北海道)▲步伍佐藤初太郎▲小原新作▲八、一〇、九熱河省半山步上三澤榮雄▲吉田政吉▲横道正則(北海道)▲余田末吉▲久保田正三▲村上政治▲田中市郎▲能田博▲山本正治▲森本政藏▲門賢次郎▲八、一〇、九熱河省半山步上立松卯吉(北海道)▲齋藤登▲鷲塚秀一▲三高政雄▲酒井義一▲步伍小谷傳作▲八、一〇、一〇承德衛戍病院步上中崎善次郎(岩手)▲八、一〇、二平泉第八師團衛生班田口茂八(秋田)▲八、一〇、二大隊鎮司山田貞作(山形)▲八、一〇、三承德衛戍病院輕上菊地勝男(東京)▲八、一一、八河北省温泉營步上山本仁松(北海道)▲信田武雄▲八、一二、九赤峰衛戍病院軍屬竹下一雄(靜岡)▲八、一二、九赤峰病院輜上角地千太郎(岩手)▲九、一、二承德西七郎(香川)▲九、一、三承德衛戍病院步上土岐豐作(青森)▲九、一、一四河北省夏店菅原七郎(北海道)▲九、一、二六承德衛戍病院步伍小關三次郎(青森)▲九、一、二熱河省入家子輜伍武田勝雄(北海道)▲九、一、二河北省海陽鎮步中尉佐々木與次郎(北海道)▲承德衛戍病院工伍高橋正孝(秋田)▲九、四、一熱河省赤峰救護班騎軍高桑政義▲九、五、一承德衛戍病院看護婦郡山シヅ(鹿兒島)▲九、六、三熱河朝陽城内步上大谷清一(北海道)▲九、七、元朝陽衛戍病院本部陸軍吉(長野)▲七、七、四同横伊藤尙(長野)▲七、九、七同綿田於口宮啟能藏▲七、九、七同花林村步伍秋野秀博(群馬)▲七、一〇、七同上慶星步上勝山久吉(長野)▲八、二、二同新興洞沼尻史男(茨城)▲八、二、七同局子街山本正太郎▲八、三、三承江武男(福島)▲八、六、三森田孫一(群馬)▲七、四、八吉林省西古城子步伍星野識吉(福島)▲同頭道溝渡部清喜▲七、三、二間島龍井村陸軍患者療養所囑託岡部德重(長野)▲間島時臨派遣隊局子街衛生班浦木義雄(熊本)▲步上佐々木忠勝(新潟)▲八、二、二吉林省龍井村步曹沼倉保治(宮城)▲八、二、三會寧衛戍病院步伍阿部順治(新潟)▲八、五、一〇吉林省萬當戶步上細海時二郎▲八、六、二同牛腹洞步中尉鶴岡大雄(熊本)▲田淸政▲九、八、一五承德病院步特曹似内末吉(岩手)▲九、八、三赤峰病院輜上福谷淸一(山口)▲九、九、一六承德病院上看伊能保(群馬)▲八、六、八吉林省局子街軍屬全福用(慶尙南道)▲七、一、一四遼寧省錦西步五小堀清藏(栃木)▲七、三、三奉天省錦州小原輝三(新潟)▲八、五、六吉林省帽兒山軍屬同比留久太郎(長崎)▲七、四、三吉林省松角樓步上矢内勝(群馬)▲同横道子溝飯野周一(茨城)▲宮内任▲久保田廣貫(長野)▲七、六、三同局子街谷中金次郎(茨城)▲同牛串

新京圖書館 新着圖書目錄

史學研究年報第一輯 豐北帝國大學文政部編
中朝事實講話 山鹿素行著
總務中與 同 六百紀念會編
日本盲人史 中山太郎著
欽定二十四史 圖書集成印書局編
清代文字獄檔 故宮博物館文獻館編
兒玉一造傳 荻野仲三郎編
ヒットラー傳 澤田謙著
綏中縣志 文等編
北鎭縣志 王文撰編
國際觀光事業概要 國際觀光局編
會計事務管理論 金子利八郎著
中國之内國公債 主宗培著
支那人口問題研究 飯田茂三郎著
香腸協會趣意書規約 同會編
本邦社會事業統計圖表 中央社會事業協會著
冠縣志 梁永康編
關城縣志 孫觀編
山東名縣鄉土調査錄 林修竹著
南金鄉土志 葛德秀著
寶庫スマトラの全貌 辻森民三著
秘書類纂外交編 上卷 伊藤博文編
刑法大綱總論 宮本英修著
憲法資料 中、下卷 伊藤博文編
國際軍縮と國際聯盟の非合理性 水谷吉三著
支那の民事慣習彙報 滿鐵資料課編
刑法大要 泉二新熊編
債權法新論 岩田新著
手形法及小切手法 島本英夫著
中華民國現行法規大全 商務印書館編
日本の經濟的發展 オーチャード著
經濟學辭典 經濟情勢研究會編
圖說 磅法の話 木村三吉等編
金融經濟概論 木村禧八郎著
國際銀塊取引と其原價計算 森川太郎著
中國最近物價統計圖表 有木弗造著
東三省移民開墾意見書 中國銀行編
經濟新聞讀法 熊希齡著
財政學 藤江利雄著

ボイル湖(一) 騷變の跡を視る

去る一月卅一日午前八時ハルハを中心とするウランガ三角地區は完全に國軍の手に奪還せられ以後旬日を出でずして水と草饒る豐かなこの大草原には數多蒙古族民が續々として集り二月十日頃には數百の馬や羊と共にハルハ廟を中心に王道の惠澤に喜々としながらなごやかな平和の春を樂んでゐるが、旬餘に亘つてボイル湖岸を悍馬を驅つて跋涉した余は今玆にボイル湖の岸打つ風浪の爲め凍りもせでひたひたと小波を立てゝゐる烏爾順河口の一角の水に疲れを休め乍らボイル湖騷變の思出を拾ふて見る

正義にたつ北警備軍

先づ我が名譽ある北警備軍の正義か一兵をも損らずして外蒙軍を驅逐完全に目的を達し得た事を特記したい、ハルハを中心に蟠居した數十百の暴兵は一月卅一日晩刻を衝いてどつと押寄せた鐵蹄の響と戰車の轟に文字通り周章狼狽、廟に屯した〇〇名中十二名の如き全く二〇〇米位眼前に警備軍を見て右に左にあわてふためきつゝ廟内外に繫いだ馬の手綱を切り放つて一目散に遁走せんとした、もし警備軍が銃門を開ければ忽ち將棋倒しが出來たかも知れないが、我武力行爲は名實共に破邪顯正平和の聖戰に終始した、正義にたつ北警備軍の名は今やハルハを瑩々照してゐる

壯烈滿洲國軍瀨尾上尉の最期

ハルハ奪還後記者は逸早く馬を捨てて本事件前暴兵に不意打ちされ惜しくも殉職した北警備軍瀨尾上尉(殉職后昇格)

並にドンドク中士の

遺骸を此處彼處に求めた處兩勇士は廟北の一廊脇に無慘にも投込まれ身にまとうたもの銃器始め何一つとなく殆ど丸裸に掠奪され弁稷の鈍器で數多打ちされた跡には鮮血がどろりとしてよどんで居り壁廟の跡をその儘に白銀色に全身が凍結してゐた兩士とも頭部、胸部、大腿部腕部等に尖々五ケ所に餘る銃創を受けハルハ廟の銃眼から亂射する暴敵をきつと睨んだその恨の眼は吾々に何か訴へんとするかの樣であつた、余は恭しく英靈を弔ふてこの慘狀をカメラに收めた、十數間に餘る間口奥行を有するハルハ廟の本堂を中心に内外に散在する各小屋を仔細に點檢すると曾てラマ僧の起き臥しゝたその小屋々々到る處頑る周到な銃眼が無數にうがたれてゐた、兩勇士は此處に籠つて應戰したが暴兵に誘はれて約七〇米迄引寄せられ一齊の廟廊も無く一齊射撃を加へられたのだ、言語に絶するその暴擧が見る者を悲憤の涙に咽ばしめた

外蒙兵に蹂躪されたハルハ廟

ハルハ廟内を見ると佛像、經文は片端しから蹂躪され

値打

ある瑪瑙等はもぎ取られ原形を止むるものは何一つとてないこの廟堂は巴爾虎旗民が尊い心血を注いで建立したもので永い間信仰の殿堂として西の甘珠爾廟と共に蒙古人の崇拜おく能はさるものであつたそのため往年外蒙領から參拜せんとする多數信徒のため國境線ハルハ河を信徒に限つて特に通過させたと言ふ時代もあつたのだハルハ河は國境なりと言ふ不變の觀念は内外蒙族民に深く浸透し現在でも蒙民はこの不文律を堅く守つて居る、外蒙兵の暴虐による廟殿の荒廢を見て記者と同行の一ラマ僧は一々跪きながら倒れた佛像を安置し經文を稱へ涙ながらに「ハルハ、イフ ゾウ ベイナー(ハルハは非常に悪いこと)と獨り言した、如何にもあきらめ切れないやうなそのいぢらしさに記者も思はずホロリとした、精悍であり忠實である滿洲國軍の蒙古兵は、この散亂した佛像經文を丹念に寄集めて自動車に載せ丁寧に甘珠爾廟に納めんと幾度も運搬した

ラマ僧達は大悅びでその好意に三拜四拜、わざわざカンジュル廟から主立つたラマ僧が馬で佛像を迎へに來た位で篤く禮を述べて引返した、彼等にとつては暴虐外蒙兵を懲兇にたとふれば、正に吾警備軍蒙古兵は天使なのだ

ボイル湖畔は旗民の樂土

ハルハ附近は元來蒙古遊牧民の雄飛の地とされ草と水に惠まれた

冬の

好放牧地である烏爾順河口の水ボイル湖の風浪と押し合ひへし合ふてこの冬も殆んど不凍のまゝであつた、蒙古の馬は決して一旦氷雪を煮沸した水は呑まない、但し雪なら乾草に混ぜてやるとパクパク廿さうに喰ふが今年は馬腸げた暖かさで、この雪が殆んど無いためボイル湖のこの水こそ天與の彼等の家畜の生命の糧であつた、外蒙兵の侵犯當時はこゝに近寄ればパンパン射たれ、家畜までも掠奪されたものだ今や國軍の入城と共に治安も恢復、數月ならずして羊馬牛等などの大群が續々と集まり、既に十數戶の蒙古包が張られ、地方民の警備軍に對する信頼は絶對的なものとなつた、之等蒙古旗民の感謝の意を代表し新巴爾虎左翼旗長は不便でせうと肉とか茶とか數々の慰問品を持つて來て勞苦を慰問、厚く禮を述べた(續く)

產後の食べ物
脂肪分と塩分が必要

分娩後は鹽分、石灰分脂肪分などが不足して居るので日常の食物でそれを殖やすやうに心掛けて行かなければなりませんが、それかと云つて急に一時に多食することはつゝしまねばなりません、そしてなるべく土地にできるものを選ぶことが必要であります、どんな副食物がよいかといふと、第一にイワシの味噌汁などが結構です、其の外ゴボウの油いため、油揚げと魚類を入れたトウフのカラ汁、ゴボウのサヽガキを入れたドジョウ汁、鹽サケ、イワシ、アヂ、テンプラに大根オロシをそへたもの、アヂの干物、ウルメの干物などですが、魚類は一週間に三回位が適度です、そして魚鳥肉類はなるべく野菜の半分位とる樣にし大根、ニンジン、里芋、蓮根などは殆んど一年を通じてあるものですから、この種の野菜は魚類の代用として脂氣のものを少し加へ鹽氣をつけて食べるとよいのです、それから肉類はなるべく避ける樣にし、もし食べる場合には牛肉や豚肉は止めて、鷄肉の脂の多いところを里芋などと煮合せる樣にし、漬物はタクアン、大根の味噌漬などを選び間食としてはつぶしあんのボタモチ、鹽いりエンドウ、豆モチ、鹽センベイ玄米オハギ、キナコオハギなどの樣になるべく皮をとらないで鹽氣のあるものを選ぶことが肝心です

御存知でせう？ 林檎の化粧水
造作もなく出來るのです

こんなに

林檎で化粧水が出來るのですから一度拵へて御覽なさい材料としては

林檎一個、アルコール十瓦、滑石末二瓦、サルチル酸〇、一瓦、香料少量、水一〇〇瓦をととのへ先づ瀬戸の山葵おろしで林檎を皮ごとすりおろしますすつかりおろしてしまひましたらそれに水百瓦を加へてよく振り混ぜて瀬戸引鍋に入れて煮立てます煮え立ちましたら火から下し布巾で搾つてからカスを除いてしまひます、次にアルコールに何でも自分の好みの香料とサルチル酸を入れ、前の林檎汁のさめるのを待つてから一緒にしますそしてこれをよく振り混ぜると乳白色の汁になります最後に滑石末を加へて更によく振り動かし一晝夜ばかり經つてから濾し紙で濾すと美しい透きとほつた液になります、これが林檎化粧水の出來上りなのです、使用法としては成る可くお風呂から出たあととか就寝の前にお使ひになることをお勸めします、この林檎化粧水をつけた翌朝は顏を洗ふときに何時もより顏がすべすべしてゐて非常に

氣持

のよいことに氣が付く筈です、

林檎化粧水のやうな酸性のものは白粉下にはなりませんからその點は特にお斷りして置きます、注意しなければならないことは林檎をおろす時におろし金でやりますと緑青がわいて來ますまた林檎水を煮たてる時にアルミニューム製鍋を使用すると鍋が侵されますからこれは絶對に禁物です

□□□□ 今日の獻立

朝 味噌汁―豆腐はあられに、油揚げはせん切、（熱湯をかけて油脱きして）味噌汁の煮立つたところへ入れ一ふきしたら、すぐ火を止めます

晝 蒟蒻おでん―おでんと言つても、蒟蒻だけの簡單なものです、大き目の三角に切つて鹽水で揉んで茹で、鍋を火にかけておきながら食べるだけづゝ皿に取り、味噌は赤味噌を擂つて漉し、煮出汁でどろりとのばし、火にかけて砂糖と醤油も少々入れて煉り上げます

晩 鰯のつみ入れ濟汁―たまにはあつさりと濟ませます、鰯の身をよく叩いて、赤味噌と根生姜のみぢん切りを少々加へ、つなぎに片栗粉を少し混ぜ合せ煮立つてゐる濟汁の中に一摘まみづつ杓子の上からつみ入れます、あしらひには葱の糸切り

朗らか小父さん

夏目漱石原作「坊ちゃん」P、C、Lで製作

明治文壇の最高峰夏目漱石原作坊つちゃん映畫化問題は既に幾度か各方面によつて映畫化を企畫されて果さず、千古不滅の名作は徒らに活字の領域を一歩も出でずとされてゐたが今回PCLが約一箇年計畫をもつて山本嘉次郎監督のもとに宇留木浩、夏目初子主演、丸山定夫、藤原釜足、東屋三郎森野鍛冶哉、竹久千惠子、英百合子、伊藤智子等名配役のもとに昨年末全部の撮影を終了初春の銀幕を飾ることゝなつた（スチールは夏目初子と森野鍛冶哉）

主婦のメモ
經濟的なだしの作り方

上等の昆布四寸四角位のもの五六枚を用意し、砂や埃を除き縱に細かく割いて、水をかけた程度にザッと洗つておき別に鰹節を御飯の茶碗に山盛三杯位削つておきます次に鍋に水約一升五合を入れ右の昆布を入れて火にかけます煮立つて來ましたら昆布を取出してなほ二三分間煮ます それから鰹節を入れ、一旦取出した昆布をまた入れ、一分間ばかり煮て火から下し、約二十分の後布巾でカスを取ればよろしい、使ふ時はこれに二升位の水を加へて使ひます この取り方は大變便利で經濟的です、但しこの方法では二番だしは取れません

野菜の完全な消毒法

野菜や果物を御家庭で簡單に消毒するにはそれは 騰したお湯のなかへ、五秒から三十秒位も野菜や果物を動かしながらくぐらすのが一番有効です、そんな煮え立つたお湯に入れては味が變りはせぬかと心配にもなりやうですが、こんな短時間浸した位で味の變るやうなことはありません、チブス菌だけを百度の湯（騰中の湯）に入れると即時に死滅してしまひます、チブス菌が胡瓜、茄子、梨、白菜人參、葡萄などについてゐたとしても、實驗の結果では十五秒以内で孰れも完全に死んでゐます

買物の秘訣 三度目主義
家庭經濟の第一歩

これは時に新しく家庭を作つた方又はこれから作らうとする方々に必要なことです、新家庭では何かにつけて不足なものの多いのが常です、例へば、茶碗一つにしても、皿一枚にしても足りないからといつてすぐ買ふのはやがて家庭を混亂に陷らせる因となりますから注意しなければなりません、それには最初から物を買はない方針を立てるのが一番です、そして何でもあるもののだけで間に合せるといふやうにして居れば家にガラクタが出來ず常にきちんと片付いて、氣持ちのよい家庭が出來ます、そこで「三度目に買ふ」といふことにしてはどうでせうか、といふのは五人のお客があつた時に五枚の揃つた座蒲團がないとしますと「欲しいなア」と思ひます、でもその時は辛抱して不揃ひの蒲團で間に合せます、二回目にまた同じやうな場合に遭遇します、その時もまだ買ひません、次に度々三度目にさういふ必要を感じましたら、初めて買ふのです、その時はだんだん生活も膨脹して交際なども多くなつて來た時であるから買つてもムダになりませんかうして三度目主義をとつてゆきますと、家庭にムダな道具なども出來ず狹い住居をガラクタで占領されるやうな心配もなく整然とした家庭がつくれます

海外

土人にも食糧問題

英領東アフリカの蠻地には樹木を利用した奇妙な塔が時折見受けられるが、これは食物をあさつて襲來する猿の大軍を見張る爲めに作られたもので、土人にも食糧問題は切迫した惱となつてゐる

復活した土人の狩獵法

この頃米國ロスアンゼルス邊りでは奇妙な矢投競技が流行してゐるが、これはアメリカインデアンの狩獵から、ヒントを得たもので勇壯であることから、彼地女性ファンの獨占となり、女性スポーツに最も適したものと、續々倶樂部が出現してゐる

學藝欄

梅の花と國民性

質實剛健と凌雪の節を尊べ

文學博士　三上參次

梅は古き時代より賞美せられた花であつて、歌にも詩にも多く詠ぜられ、文にも綴られ宮中に於ても梅壺があり

菅公

の紅梅殿などの名稱もある、特に菅公と梅との關係は普く人口に膾炙するところである、奈良朝此の方春の花と秋の紅葉との優劣論があり、同じく春のうちにても櫻と梅との優劣論がある、藤原公任卿の如きは「梅といふもののある上は櫻を第一と推すは如何」といつて居る、その他梅の禮讃者も多いのである、江戸時代に至つては漢學者系統の人は殊して梅を喜び、國學者系統の人々は寧ろ櫻を賞美する傾きが見える、其の故は梅はその名が「ウメ」であつて、梅の支那音に「ウ」とつけ加へたもので恰かも馬がその支那音に「ウ」と加へられたるが如きものである、明白に外來のものであることが分つて居るためであらう、漢學者が漢學を修むる余り、余りに支那を崇拜し內外本末を誤るのを憤つての國學者の氣慨からで所謂坊主が憎ければ袈裟までの類である、しかし梅が嚴寒の霜雪を凌いで咲き出でる、即ち百花の魁であり、花の兄と稱へられる點其の清節の健氣さを感じさせる點、其の枝振りのガッシリとして一種の抑すべき雅味ある點、實にその香氣の馥郁たる點などで、國民に古來深く賞美せられて居るのである、支那人の詩にも古くより「尋常一樣窓前の月、僅かに梅花あれば即ち同じからず」などの句もあるのである、しかしこれを國學者側より見れば一々積に障はるのである、加茂眞淵翁は多の中より我れは顏に咲き誇り、賢しらがりたる顏面白からず又其の枝もゴツゴツしく花の兄どと稱せられるは片腹痛しといふ意味の批評をしてゐる、これは前にも云ふた如く漢學者が意外卑內の弊あるを憤慨しての言である、次いで本居宣長の「敷島の大和心」の名歌を詠じてよりいよいよ櫻を以て日本の國華と考へるに至つた、それは當然の事である、しかしつらつら考へて見ると櫻花は所謂三日見ぬさくらで其の生命は短かく之に反して

梅は

長い又櫻は花品やや浮華輕薄なる點が見えるに反し梅は沈着にして堅實なるところがある國民精神の感化に對しても、櫻は國華として賞すべきは無論であるが、梅も彼の堅忍不拔、凌雪の節操を示すところ又散つた後と雖も尚立派な實を殘すなど學ぶべき點が多々あるのである、今日の日本の世相が徒らに華美を衒つて質實剛健の美德を忘却せんとする時に當つては一段と其の花の德にもあやかるやう寒さを冒して探梅の復興を望むのである

道德の理論と實踐の優越（二）

文學博士　下田次郎

三

マッシュー、アーノルドは詩人や思想家の意見の相違については、最も寛容であつたが行爲に關しては、何人についても嚴格に批評した、哲學史や倫理學史を見ても古今東西の見解は實に多種多樣で到底一致するものではない、又後世ほど妙說の出るものでもなく、却つて古代に不滅の教理の存するものでもある、それ故、理窟を極めた後に實行に移らうとしたらば、生涯實行する時はあるまい

それで實行は普通の生活、大部分の行爲は込み入つた

理窟

など無しにやつて居るので、それで、また生きて行けるものである、泳げるやうになつたら海に行き、乘れるやうになつたら馬に乘らうと思つたらつまり泳ぎ乘る時は來ないものである

素より生活に識見の必要なこともあるが、その識見が必ずしも妥當でなく、又人々の見解の異ることが少くないとすれば、理窟を捏ねてばかり居ては片のつかないことである、だから德育に理窟は無用といふのではないが理窟よりも人格が體り出た方が有効だと思ふのである

四

世の中は理窟だけで行くものではない、人は理性を有する存在であると同時に感情の持主である、同じ事を言つても言ふ人によつて感じが違ふ、北海道の帝大の前身、札幌の農學校には昔クラークといふ教師が居たことがある、餘り長くはなかつたがその感化は甚大であつて、有爲の材を多數出し、又クリスト教の布教にも成功したので今日に至るまでその影響は續き、北大は一つの精神的學府として嚴存して居るのである、又松下村塾の吉田松陰の如きは我に近くは火口近くなりといふ風の人であり、維新の長州の人傑で感化を蒙らなかつたものは殆んどない

我が國でも大抵、古の有名な塾を營めた人とか、立派な私立學校の創立者又は初代の學長には人格者があつて、學生はその學德を慕ひ、その人を中心として集つて來たものである

五

小學校や中等學校では德育には專門を認めず、他の學科は專門の教師がそれぞれ教へて居る場合でも、修身科はどの教師も教へられるものとなつて居る、つまり教師である以上は、修身科を受け持たれるだけの人格を具へたものとされてゐるからであらう、全校の教師は悉く立派な人格者であることは望ましいが、それは願ふべくして行はれないことである、それで願ふのは一校に一人でよいから、生徒の心服し敬仰する先生が居てほしいことである、唯一人感化力を有する先生があり、いつまでも忘れ得ぬ人であれば實際はそれでよいのである、今日我が國の德育に於て最も緊要なことは、會議でもなく、宣傳でもない、眞に教育家らしい人格者が居ることである

以上は主として學校の教師の對象を見たのであるが、これは同樣に家庭の親にも社會の長者に當てはまることである、すべて多少とも人に擢んで、人の模範となるべき或るものを有する人は、實は皆教育して居る人で、これには德育に於て最も强くしその感化が見られるのである

記念公會堂と公德

新京市民各位へのお願ひ

書記長　眞殿星磨（三）

脫帽のこと

之も公會に於ける常識として當然のことですが、記念公會堂は床か平面の爲後の方の人は、それでなくてさへ舞台が見難いのですから、一人帽子を被つてゐる人があると、隨分多數の人が其の爲迷惑しまして、假椅子であつて帽子を挾む設備もなく、膝の上に置いて頂くことは可成り厄介とは承知してゐますが、お互ひの禮儀の上からも脫帽の習慣を作つて貰ひたいと思ひます

電話呼出しのこと

開演中電話呼出しの多いのも一寸異樣の感に打たれます、映畫に演藝に舞台は今や高潮に達し觀衆は陶醉境に入つてゐる時、突如として「何々さんお電話」とどら聲で呼ばれる位氣分を損ふことはありません、舞台の人は其の爲すつかり腰を折られて折角の藝を滅茶苦茶にすることもあります、之は公會堂としては速に揭示板の設備を致しますが、同時に已むを得ない急用の外は成る可く電話に呼出さないやうに辛抱願ふこと、及びお仕事の關係其他で電話のかかるかも知れぬ人は、豫め受付にお名前と座席の位置を告げて置かるることを希望します

かくすれば一人の用事の爲に滿場の觀衆の感興を殺ぎ、又自分としてもお名前を廣告される不愉快から免れると思ひます

履物のこと

履物は靴又は草履に限ることにして頂きたいと存じます、下駄穿きで場內を步くことは自他共に不愉快であり館內の清潔を保つ上からも困ります

最後に

以上はすべて判り切つたこと計りで、こんなお願ひをするのすら失禮だと思ふ程です、若し此處が記念公會堂本來の目的たる公會のみに使用さるるならば、全く何事も申上げる必要を認めません、只之が興行場に代用せらるるが故に其の爲公會堂に對する市民の觀念を少しでも誤まられることのなきやうとの杞憂からお願ひする次第であります、私も座席に打ちくつろいで火鉢お茶を手許に引寄せ辨當でも頰張り乍ら舞台に見入る日本の芝居や寄席の氣分を好む一人です、併しそれはそれで約束の下に利用さるるのが當然だと思ひます、何卒名實共に立派なる記念公會堂たらしめる爲市民各位の御支持をお願ひします（終）

滿鐵俳句會生る

一般の入會も歡迎！

新京滿鐵社員倶樂部俳句會が生れる、新京檢車區古瀨久八郎、新京國富館木下助男、同牟田監治の諸氏が發起となつて今度新らしく同會の發會を見ることになつたが、會員は滿鐵社員のみに止まらず社員外といへども社員の紹介あらば差支ないことになつてゐる、同會の規則は左の通り

新京滿鐵社員倶樂部俳句會規則

一、本會は新京滿鐵社員倶樂部俳句會と稱す
一、本會は事務所を滿鐵社員倶樂部內に置く
一、本會員は廣く在京一般同好者を以て組織す
一、本會は會員の作句精進を計り趣味の涵養情操の洗練に資するを目的とす
一、本會は毎月數回例會を、春秋二回大會を開催、なほ會員の希望により隨時吟行句會を催すものとす
一、會員は會費として毎月金二十錢を納入するものとす
一、本會に幹事數名を置く
一、幹事は會員の選擧により過半數の賛意を得て決定す
一、幹事の任期は一ケ年とす但し重任を妨げず
一、幹事の會務は分掌し會計幹事は年度末又は必要に應じ會計報告をなすものとす
一、社員外の入會は社員の紹介によるものとす
一、本會々則は會員過半數の賛意を得るに非ざれば改變することを得ず

監察院に句會生る

監察院のお役人さんたちが固苦しい肩書を拔ぎ捨ててうららかな春日和に一句吟ずるの集ひをこの程作りました、三月五日同好者が集つて同風吟社句會を組織、毎月一回づつ俳句の持寄りをする、同好者は役人、一般市民その他の區別なく入會を大歡迎してゐる希望者は新京健和胡同二百四號地野副博方同風吟社宛申込まれたい、なほ次回は三月十七日（日曜日）午後一時から開催、題は「雛」である、第一回の作は次のやうなもの（題は立春、雪その他）

日佛論文交換

學界新計畫

日佛の文化親善事業の一として日佛兩國間に醫學に關する論驗を交換し醫學研究の相互的便宜を圖り協同研究と學術による診療助長の目的で會長に三浦謹之助、副會長に林春雄兩東大名譽教授を擧げて結成された日佛醫學委員會では先般日本側委員が參集して具體的事業として日本の優秀な醫學論文を佛國學界におくつて發表する案を議し近く論文選定に取りかかることとなつた、尙佛國側からもパリ醫科大學教授各博士により結成されてゐる委員會選考の優秀な論文が我が國におくられる筈で兩國醫學界權威者による提携は各方面から注目されてる

新京商人の打擊！
〝哈市…大連〟列車新京驛默殺
南新京驛で乘替えと積卸し
新京側に悲鳴起る

消費組合問題を繞つて市內商人の神經を焦らだゝせてゐる矢先、北鐵讓渡の調印を目睫に控へ、同鐵道接收後直ちに起るべき鐵道路線の變更に由來する經濟的打擊につき又復「我らの生活權」擁護の市民運動が勃發せんとしてゐる—即ち現在滿鐵線と北鐵線との接續は

旅客 貨物ともに新京驛において乘換へ或は積卸を行つてゐるが、北鐵接收後これが滿鐵の委任經營になれば、大連ハルビン間の直通列車の運轉をみるべく、その曉には現在の如く新京驛で接續しては甚だしく迂廻しなければならぬことになるので現在の新京驛を通過せしめず南新京驛から寬城子を結ぶ直線路線を敷設せんとする計畫が傳へられ、早くも市民の一部には附屬地の死活問題として反對運動の勃發をみんとする情勢にある

因み に現在新京驛 乘降客數は一日平均概略八千人とみられ、うち八割は滿鐵線および北滿線によつて吞吐されるものである

北鐵讓渡成立と
南新京中心時代
何年後か判らぬ
新鐵事務所側の話

右につき新京鐵道事務所側の意向を聽けば

南新京驛が中心になるのはまだこれから何年後のことか判らず、直ちに南新京驛から寬城子へ直通することはどう考へても考へられぬ

それ は何かの間違ひだらう北鐵が買收されても當分の間は現在の通り新京驛で乘替運轉をやるより外なくゲージ變更出來上つてとり敢へずハルビンまで直通することになれば今のまゝの軌道ではどうしても接續が出來ぬから新京驛から東五條通りを通過し火葬場邊りを迂廻して寬城子の少し先の方で南部線に接續することに大体なるだらうそうなれば現在の寬城子驛は當然廢止されるであらう

公會堂の演藝直營
猛烈な反對で流產
きのふの記念公會堂理事會

新京記念公會堂の映畫演藝直營案その他を附議すべく公會堂第三回理事會は既報の通り十八日

午後 一時から同公會堂會議室において開催されたが理事者側から吉澤理事長を始め武田常務理事、神崎、稀葉兩理事その他また一般側から高山、栗原杉之、原、四戶、小澤、得丸、田中（卓）小松、田中（善）稻田の諸氏出席、別項の諸議案を附議してのち最後に問題の直營案に移つたところ、果然各理事から猛烈な反對意見が續出

ごう／＼たる一般の非難を押して、何故にかゝる公會堂設立の趣旨にもとるものを敢て實施せなければならないか、それよりも公會堂自体として當然なすべきことが幾らもあるではないか理事者としての面目もあらうがそんな面目論に捉はれず本案は潔く撤回せよと

强硬 に撤回を迫るところあり、理事者側では主として神崎氏および眞殿公會堂書記長が血眼となつて種々陳辯に努めたるもてんで問題とされず、結局理事者側の面目もあり映寫機購入に關しては今後必要の場合はあるとしても時期尚早だとの意見に一致した、かくてさしも紛糾を來たした同案も理事者側必死の陳辯も効なく遂に撤回されることに決定同四時すぎ散會した

映畫は十日間以內
演藝は制限せぬ
來る四月一日から實施する

十八日の公會堂理事會ではまづ昭和九年度實行豫算收入總額一萬三千圓、支出同一萬二千圓、純利益約一千圓を承認してのち、各所改造に關して協議したが、現在講堂は平面のため觀覽上不便があるので移動式の齒床を設け傾斜をつけること、便所通路の改善、使用料金並に取付その他講堂使用料金に關しては從來講堂の使用料は理事者の自由裁量に委してゐたのを晝間六十圓夜間八十圓（別に暖房費七圓）晝夜百十圓（暖房費十圓）とし更に今後の經營方針としては映畫は十日間以內（無料又は入場料三十錢以下の場合はこの限りに非ず）とし、演藝ものは一切制限せずなほ五日間乃至一週間每に一日を保留して實費的の公共的使用に當てること、又公共團體に對しては優先權を認めること、支那劇前の興行用の機の如きは不休裁にわたるゆえ今後嚴重取締ることなどを決定既に三月は申込受付を終つてゐるので來る四月一日からこれを實施することになつた

反對は一人もないはずだ！
武田地事所長の談

武田新京地方事務所長は赴連中のところ十七日午後五時三十分歸任したが語る

千種衞生課長夫人が逝去したので匆々出かけたものだ消費組合理事會にも出席したが、ただ事務的なものばかりで大したものはなかつた序でに本社各方面に新任の挨拶をして廻つて來たくらいのものだ、公會堂の映畫直營問題ッて？僕の聞く範圍では別に反對が一名もないが、たゞ市民の總意による公平な理事各位の意見にまつまでゝ吾々にしてはたゞ決定されたものを實行すれば足りるのだ

羽衣町の小火

十八日午後一時三十分頃市內羽衣町三丁目十二番地井上德三氏方より發火、急報により消防隊出動同一時五十分鎭火した原因はストーヴの煙突不完全から、損害僅少

祐代ちゃん
お友達に雜記帳進上

市內祝町西本願寺內幽影幼稚園々兒、羽衣町三丁目小坂一佐氏長女祐代さんはかねて病氣で休んでゐたがこの程全快したので全快祝に同幼稚園々兒四十餘名にそれ／＼雜記帳を贈つた

腦脊髓膜炎發生

新京東二條通三十九番地兒玉繁太郎氏二女アヤ子（二才）同家職人城島正男（一八）は十一日發病診察の結果十六日腦脊髓膜炎と確定患者を隔離すると同時に同家を交通遮斷し大消毒を施した

ラヂオドラマ
〝情の墨付〟放送
室町小學校學童が原作主演

室町小學校六年生四人が合作した兒童劇「情の墨付」が二十一日夜小さき作家達の手によつて全滿に放送される、作家兼役者である兒童は室町小學校六年久保欽哉、北野利明石黑重明、近藤瀧次郎の四君で卒業の思ひ出にと四君が每日頭をひねつて出來上つたのがこの「情の墨付」である、劇は大石內藏之助東下りの一節、大石が關白近衞家の用人垣見左內と世をいつはり同志と共に江戶に下る途中三島の宿で本物の垣見左內に出會ひ、役人に追究されやうとするのを垣見左內が知つて自分が僞の垣見左內であるといひ墨付を大石に與へ大石を救ふといふ趣向で大石良雄を久保君、垣見左內を北野君、勝田新左衛門を石黑君、音響効果を近藤君がつとめ解說を久保君が行ふことになつてゐる

〝思出にならう〟
ませたことを言ふ
ベビー脚本家四君

放送室で熱心に練習中の四君を訪ねると四君は元氣で語る もう大丈夫です、セリフもすつかり覺へてしまつた、この放送は僕達が大きくなつてからよい思ひ出となるでせう（寫眞は放送中のベビー劇作家兼俳優）

西公園リンク
廿日から無料開放
スケートも愈よ本月一ぱい

ぽかぽかと小春日和がつゞく今冬の寒さももうどうやら峠を越したらしく昨日けふの暖氣のため切角のスケートリンクが解けはじめたが、これでスケートシーズンも漸く終末に近づき昨年は三月五日限りだつたが今年はリンクの關係上それより早く大体本月一ぱいの見込で地方事務所社會係ではスケーターへの最後のサービスとして來る二十日から一般のため無料開放することゝしたこの名殘りのスケートにせい／＼多數出かけて欲しいとの希望である

〝草人〟來京

モスクワで開かれるソ聯の映畫創始十五周年記念祭に招かれて渡露の途にある上山草人氏は十八日午後九時新京着

人口も殖えるが
變死者も多い

新京附屬地の人口は幾何級數的增加を見せて文字通り麕めよ殖せよで正に六萬を突破する勢である、一方死亡者の數も相當多いが其中で變死人の數を調べて見ると△縊死日本人男一、女一、滿洲人男二、△入水滿人男一、女一、△毒藥自殺日本人男二、女一、△劇藥自殺日本人男三、女二、朝鮮人男五、女二、滿洲人男一、女四、△汽車自殺日本人男二、合計日本人男七、女五朝鮮人男五、女二、滿洲人男四、女五、總計三十七名で日本人が一番多い

八島小學校
スケート大會

八島小學校では十八日午前九時より西公園スケートリンクに於て全校兒童のスケート大會を催したが各種競技に潑剌たる元氣を見せ盛況裡に正午閉會した

運動

鐵路局優勝
第一回滿鐵各個所對抗卓球大會

第一回滿鐵各個所對抗卓球大會は十七日午前十時西廣場小學校で開催 地方事務所、鐵道事務所、病院、商業學校職員、用度事務所、新京驛貨物係A、同B、新京鐵路局の八チーム參加白熱戰の結果遂に新京鐵路局が優勝した、閉戰午後三時二十五分、試合經過は左の如くである

第一回戰
◎用度　商業職員×
○中江三　二岡野×
×松永二　三岡城○
×橋口二　三秋庭○
○大貫三　○神崎×
○松尾三　一田所×

第一回戰
×病院　地方事務所◎
×東辻二　三相原○
×鯉沼○　三古村○
○中村三　二濱邊×
×陶山一　三安藤○
田中　岡田

第一回戰
◎鐵路局　貨物B×
○伊藤三　○吉田×
○三井田三　一脇坂×
○田中三　一藤戶×
川原　三輪
古川　岩井

第一回戰
◎鐵道事務所　貨物A×
×鈴木二　三中村○
○林三　一安藤×
◎山崎三　○中尾×
○松尾三　○柴原×
田中　倉崎

第二回戰（準決勝）
◎鐵路局　用度×
○伊藤三　○大貫×
○三井田三　一中江×
×古川一　三松永○
○田中三　一松尾×
川原　橋口

第二回戰（準決勝）
×地方事務所　鐵道事務所◎
×相原○　三鈴木○
○吉村三　二林×
×濱邊○　三山崎○
×安藤○　三松尾○
岡田　田中

優勝戰
◎鐵路局　鐵道事務所×
○田中三　二鈴木×
○伊藤三　一林×
○三井田三　一山崎×
古川　松尾
川原　田中

第一回東洋選手權爭奪拳鬪試合
優勝者

【東京國通】第一回東洋選手權爭奪拳鬪試合の第二日は十五日夜國技館で擧行第一日の成績を合し結局第一回東洋選手權は
バンタム級　ヴイラネバ（比島）
ライト級　アポルト（比島）
ジュニアウエルター級　佐藤（東邦）
ウエルター級　名取（東拳）
が夫々榮冠を贏つた

オールカマース庭球
吉岡選手惜敗

【マニラ十七日發國通】オールカマース庭球トーナメント出場中の吉岡選手は十七日のシングルス準々決勝戰に於て比島ナムバー二、フランシスコ、アラゴン選手と開戰、第四セツトでマツチ、ポイントまで追詰めたが遂に惜敗したスコア左の如し

アラゴン　三—六、三—六、六—二、八—六、六—〇　吉岡

居住消息

▲平川正敏氏（福岡縣）露月町四丁目ガス會社々宅
▲齋藤督三氏（宮城縣）吉野町關東軍經理部宿舍へ
▲田中泰氏（福岡縣）八島通り一丁目十二番地へ
▲江澤文三氏（東京府）中央通り二十三番地滿鮮ビル三十二號室へ
▲原伊八氏公主嶺から中央通り益濟寮へ
▲鬼村政次氏（山口縣）大連から大和通り四十八番地ノ二伊藤方へ
▲瀨崎義雄氏（長崎縣）大連から同上へ
▲中村信一氏（山口縣）奉天から富士町二丁目豐順棧三十一號へ
▲石村英憲氏（岡山縣）朝陽川から梅ケ枝町四丁目四ノ三へ

轉居

▲多胡幸司氏中央通りから曙町一丁目二番地四十四號へ
▲高城貞雄氏祝町から西七馬路八號地吉丸館
▲濱口祐範氏德明胡同から羽衣町四丁目ガス社宅十三號へ
▲伊藤顧章氏大經路から露月町三丁目七十六號吉田方
▲房前工氏和泉町から露月町三丁目五十六號ノ四へ
▲栃原正勝氏花園町から露月町三丁目七十四號ノ二へ
▲佐藤均氏日本橋通りから和泉町三丁目白山寮百十八號へ

▲岩井長蔵氏（花園町一丁目二十四號地ノ二）次男登さん八日出生
▲岩瀨春治氏（石碑嶺炭坑附屬地南號外地）長女和子さん四日出生
▲鈴木淸氏（花園町二丁目二十六號地ノ二）妻ヨシさん十五日午後五時死亡

〝奉天入城當時回顧〟
高柳中將の放送
陸軍記念日當日奉天から

思ひ出も新たに第三十回陸軍記念日が來た

來る 三月十日奉天放送局では故大山滿洲軍總司令官の奉天入城當時を回顧するため午前十一時五十分から午後零時二十分まで三十分を二回にわけて大連のマンチューリアン、デーリー、ニュース社長高柳保太郎中將の回顧談を全日滿に放送することになつた高柳將軍は當時滿洲軍總司令部幕僚として故大山元帥の麾下にあつて奉天に入城した勇將で奉天の大戰の模樣をさながらに語ることゝなつてゐる、放送は午前十一時から十五分間

大山 元帥が入城した大南門樓上にマイクを設け進軍喇叭の吹奏を背景に高柳將軍の回顧談があり午後零時五分から十五分間は奉天忠靈塔の靈前で「忠靈塔に捧ぐ」と題する同將軍の回顧談が陸軍儀式喇叭の前奏で行はれる

本社辭令

記者　佐々木文哉
記者　宇田濟次（十二月二十日附）
記者　山口愼一（二月六日附）
記者　和波薰（二月九日附）
事務員　近藤幸二
右入社
記者　穗積俊之（二月十五日附）
依願退社

女人婆羅門（にょにんばらもん）

（續上海映畫化）

長田秀雄

西正世志畫

（七十二）

蛇紋の水 （四）

「あれえ、誰か來て下さい」

お弓が金切聲を出した。

「畜生つ、この野郎」

「何がこの野郎だ。さつきお弓さんを口説いてゐたのは誰だ――同罪ぢやないか」

芳二郎は、組敷かれながらわめいた。

馬乗りになつて、悪戦で、西郎は力まかせに毆つた。芳二郎は、鼻血に滲んだ顔を、蛇紋に蛇のやうに蒼ざめて抵抗した。

「待つて下せえ」

治太夫が駈けつけた。

「御主人――退いて下さい」

「危ないっ！ 待つて下さい。一郎、これや何うなすつたんですか――ま、ま、腹も立たうが、仲人は時の氏神と云ふ事もある。引分け、引分け！」

やつと二人を引離した。

「此の名古屋の客人が、お弓さんに、餘まり無法な事をしかけるもんだから、見るに見兼ねて、懲らしてやつたのです」

猛者西郎は、ふう／＼云ひながら、芳二郎を睨んで云つた。

「どつちが無法な事をしたんだ」

「まア／＼待つて下さい。手前方では、どちら様も、大切なお客様です。事の仔細も略察しがついてゐる。双方御圓滿に願ひたうござんすよ」

と、云ひながら、二人の格闘のために落ちた額やら掛軸やらを取片づけた。

「やれ／＼……私の家の大切な掛軸が此通り滅茶々々になつて……この額の方は、安物ですが、掛軸のほうは、御本人がお泊りになつた記念として、態々お書き下すつた掛替のない品物でございます――おや、おや、こんなにびりびり破けてしまつた」

治太夫は、舌打した。

芳二郎は、氣の毒な顔つきで、

「そりや大變申譯のない事を致しました。一體貴方がお書きになつたのでせう。償へるものなら、お償ひ致します」

「はい、御志は有難うござんすが東京の高名な方でございます。二度とお書き下さるかどうか分りません――醍醐魯軒と云ふ先生で……」

「え、何ですつて？ 醍醐、あの醍醐！」

芳二郎は、仰天した様子――

「お客様は、醍醐先生を御存知でございますか」

「はい――手前能く存じて居ります。奇妙な縁故がありまして、東京から横濱へ行く汽車の中で、先生と奇遇して、種々の教へにあづかつたことがあります。私にとつては、何としても忘ることの出來ない人でございます」

「ほう、それは奇妙な因縁だ」

「車中で種々教へを受けた中で、婦人に迷つてはならぬ――と、堅く誡められましたが、詭願戦へに反き、車中で乗合はした女に引かかつて、横濱で散々な目にあひました――話によれば、『婆羅門お蘭』とやらいふ悪婦だそうで、イヤ面目もない……」

猛者西郎は、その話をきくと、顔色を變へて、そつと座敷から出て行つた。

治太夫は、何と慰めやうもなく、

「さうですか……まア、それはそれとして、今日の事は何もかも水に流して下さいませ。折角の御名ではございますが、御主は、只今のところ、何處へも遣れませぬ。殊に貴方様の様な御大家と縁組などとは釣合はぬ事――御主のことはどうかお忘れ下すつてこの話ともに綺麗さつぱりに……」

芳二郎は力なくうなだれた。